令和3年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 第2回総会

日時:令和4年2月14日(月)

10:30~12:30 (2時間)

場所:WEB会議(Zoom)

次 第

- 1. 議事
 - (1) 第1号議案
 - ①行動計画の見直しについて
 - (2) 第2号議案
 - ①令和3年度活動報告(案)
 - ②令和3年度歳入歳出決算(案)
 - (3) 第3号議案 役員選出
 - (4) 第4号議案
 - ①令和4年度活動計画(案)
 - ②令和4度歳入歳出予算(案)
- 2. 報告事項
- 3. 意見交換

配布物一覧

【資料】

○資料1 第1号議案

行動計画 改定(案)

- ○資料2 第2号議案
 - ① 令和3年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会活動報告(案)
 - ② 令和3年度歳入歳出決算(案)
 - ③ 令和3年度歳入歳出決算(案) 監査報告書
- ○資料3 第3号議案

令和4年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会役員選出

- ○資料4 第4号議案
 - ① 令和 4 年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会活動計画(案)
 - ② 令和 4 年度歳入歳出予算(案)
- ○資料5 報告事項

新・妙高高原ビジターセンター開設の進捗状況について

【参考資料】

- ・参考資料1 令和3年度活動報告に関する資料
 - ① 「あまとみトレイル」信濃町の未開通区間の変更
 - ② 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会5年間の歩み
- ・参考資料 2 令和 4 年度歳入歳出予算(案)関する資料 協議会 HP サーバー変更について
- ・参考資料3 ビジョン・管理運営方針・行動計画
 - ① ビジョン
 - ② 管理運営方針
 - ③ 行動計画
- ·参考資料 4 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 規約

令和3年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 第2回総会 出席者名簿

※敬称略

NO.	機関・団体等	総会構成員	出欠	備考	番号
1		東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸	欠席		01
2	有識者	文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ	出席		02
3		富山大学 芸術文化学部 教授 奥 敬一	出席		03
4	エコツーリズム関係 者	NPO法人GOZAN自然学校 代表理事 目須田 修	欠席		04
5	地域振興関係者	小谷温泉旅館組合 代表 山田 誠司	出席		05
6	博物館関係者	糸魚川フォッサマグナミュージアム 館長 竹之内 耕	出席		06
7	守初	野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長 近藤 洋一	出席		07
8	山岳関係者	元高谷池ヒュッテ管理人 築田 博	欠席		08
9	山田関係石	戸隠登山ガイド組合 代表 吉本 照久	出席		09
10		一般社団法人 糸魚川市観光協会長 尾崎 毅	代理出席	事務局長 佐々木繁雄	10
11		一般社団法人 妙高ツーリズムマネジメン ト会長 古川 征夫	代理出席	事務局長 関原一義	11
12		一般社団法人 戸隠観光協会長 極意 憲雄	出席		12
13	観光協会・ DMO	一般社団法人 飯綱高原観光協会長 西澤 一幸	代理出席	専務理事 中島伸也	13
14		一般社団法人 信州しなの町観光協会 代表理事 有江 重毅	代理出席	事務局長 佐々木政彦	14
15		一般社団法人 飯綱町観光協会長 山田 保和	代理出席	事務局長 西澤美行	15
16		一般社団法人 小谷村観光連盟 中村 義明	代理出席	事務局長 堀克彦	16
17		糸魚川市長 米田 徹	代理出席	産業部商工観光課 課長 大嶋利幸 ※随行 主事 横川雅矢	17
18		妙高市長 入村 明	出席		18
19	市町村	長野市長 荻原 健司	代理出席	商工観光部 主幹兼観光振興課長補佐 高田園也 ※随行 主事 鈴木智大	19
20		信濃町長 横川 正知	出席		20
21		飯綱町長 峯村 勝盛	出席		21
22		小谷村長 中村 義明	代理出席	観光地域振興課 課長 山田久志	22
23		新潟県県民生活・環境部長	代理出席	環境企画課 課長補佐 星野航	23
24	県	長野県環境部長	代理出席	自然保護課 企画幹兼自然保護係長 池田敦	24
25		上越森林管理署長 猪股 英史	出席		25
26	林野庁	北信森林管理署長 中嶋 勝浩	出席		26
27		中信森林管理署長 石橋 岳志	代理出席	総括森林整備官 砂留直浩	27
28	歩く利用部会	部会長 林部 直樹	出席		28

29	環境省	信越自然環境事務所長	堀内	洋	出席		_
----	-----	------------	----	---	----	--	---

【オブザーバー】

1	国土交通省	北陸信越運輸局観光部 観光地域振興課長	欠席	29
2	ながの観光コンベン ションビューロー	観光部 部長	欠席	30

※敬称略

【事務局】

1		信越自然環境事務所 国立公園課長 岸 秀蔵	出席	-
2		信越自然環境事務所 国立公園課 係員 岡田 真次	出席	-
3		信越自然環境事務所 国立公園課 生物多様性保全企画官 山岸 隆彦	出席	_
4	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 国立公園利用企画官 折原 直廣	出席	-
5	垛 况自	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官 山本 豊	出席	_
6		妙高高原自然保護官事務所 自然保護官補佐 帖地 千尋	出席	_
7		戸隠自然保護官事務所 自然保護官 秋本 周	出席	-
8		戸隠自然保護官事務所 自然保護官補佐 土屋 達郎	出席	_
9		株式会社地域環境計画 生物多様性推進上席マネージャー 増澤 直	出席	_
10		株式会社地域環境計画 環境共生推進部リーダー 今野 尚美	出席	_
11	業務請負者	株式会社地域環境計画 環境共生推進部 荒尾 章子	出席	_
12		株式会社地域環境計画 環境共生推進部 平 尚恵	出席	_
13		株式会社地域環境計画 環境共生推進部 佐々木 道子	出席	-

「行動計画」改定(案)

現行の行動計画は2016年に策定したビジョン及び管理運営方針を実現するため、2017年から5年程度以内に実施する事項を行動計画としたもの。この計画には、2017年時点の当公園が抱えている課題や各構成員からの意見等を踏まえ9項目を「重点 事項」として抽出し、主な目標や10年後に目指す状態、取組のすすめ方の概要等を示した(なお、当計画は、進捗状況や各構成員の取組状況、予算状況等に応じて適宜見直すこととなっている)。今回の改訂版は、2021年の中間評価を踏まえ2017年から10年後となる2026年の目標達成を目指すため、2022年から5年間の取り組むべき行動を追加したもの。

> ※◎実施し達成できた、○実施中、△実施した が達成できなかった、×実施しなかった

重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年) の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の 第1回幹事 会にて)		左の個別 目標に中間 する価	中間評価時点(2021年6 月実施の第1回幹事会) の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
生物多様性の保全	•		※◎実施し	達成できた、○実施中、△実施↓	したが達成	できなかった、×実施しなな	かった	
(1) 生物多様性の 保全	市民・研究者・行 政が一体となって 保全活動を実施 し、生物多様性が エコツーリズムに 活用されている状態	・地域一体と なった生物多様 性保全活動の不 足 ・科学的知見の 蓄積や共有不足		・生物多様性保全の主流化の開 始	0	・各市町村でSDGsの取組を 市民生活と結びつけられは じめてきている。	■実施済み・継続・生命地域妙高環境会議の実施(妙高市)■新規・各構成員からの活動や課題の情報共有を受けて課題解決に向けた連携を連絡協議会にて随時実施(連絡協議会)・生物多様性地域戦略の策定(連絡協議会)	No. 1
				構成員間の連携体制の構築	0	・本協議会や、一部で構成員間の連携ができている。	 ■実施済み・継続 ・ライチョウ生息地改善事業及び環境サポーターズとの連携(妙高市、環境省) ・外来種駆除の取組でのモニタリング(妙高市、長野市、飯綱高原観光協会、環境省) ・必要なに応じた連携体制の構築(各構成員、連絡協議会)。 ■新規 ・各構成員からの活動成果及び調査結果の提供を受けて協議会HPで実験的に掲載(連絡協議会) 	No. 2
			0	・市民、研究者、行政が一体と なった、各種保全活動の推進	0	・環境保全や外来種駆除 は、市民と行政等が一体と なり活動が進んでいる。	■実施済み・継続 ・ライチョウ保全に係る調査や取組の実施(妙高市、環境省) ・山頂付近植生復元地の写真撮影モニタリング(元高谷池ヒュッテ管理人) ・大谷地湿原のキショウブ駆除(長野市・飯綱高原観光協会) ・野尻湖の水草復元調査活動(野尻湖ナウマンゾウ博物館) ■新規 ・妙高高原ビジターセンターに対し、ボランティア組織の運営及び活動の一部を委託(妙高市) ・火打山山頂付近での植生回復事業への参画(上越森林管理署) ・植生状況の継続的なモニタリングと方法の検討(築田、連絡協議会) ・各構成員からの依頼や情報提供により、連絡協議会HPやSNSを通じてボランティア募集と活動成果の情報提供(連絡協議会) ・各構成員からの要望に応じた、新たな地域でも一体となった保全活動の推進(連絡協議会)。	No. 3
				・科学的知見の蓄積と共有化		・ライチョウ、シカ、希少動植物等の調査研究結果の蓄積は各主体で進めらているが、連絡協議会としての共有化は未実施。 ・国立公園のみで、現在指定植物のリストリ調査は実施のサインベントリで、現在は大きをである。	■実施済み・継続 ・ライチョウ行動把握調査等(妙高市) ・指定植物・インベントリ調査(環境省) ・森林再生事業での保全管理手法の調査研究(長野市) ・ニホンジカの生態調査及び被害対策(上越森林管理署、北信森林管理署) ■新規 ・イヌワシの餌場環境創出のための森林整備(上越森林管理署) ・「火打山周辺ライチョウ希少個体群保護林」の維持管理及びモニタリング(上越森林管理署) ・妙高市及び市関係団体における調査について、妙高高原ビジターセンターでの蓄積(妙高市) ・各構成員からの情報提供により自然環境情報、効果的な保全方法等の取組を連絡協議会IPIにて共有(連絡協議会) ・観光協会やNPO等各構成員により適宜環境省の「いきものログ」を活用した生息情報の一元管理(連絡協議会) ・自然環境情報等を活用したエコツアーの推進のためのHPでの情報共有・活用方法の提案(連絡協議会)※エコツアーの活性化にも連動する取組を記載	No. 4
				・民間参画や市場メカニズムを 活用した保全費用の確保	立(一	妙高市ではクラウドファン ディング、入域料導入が始 まっている。	 ■実施済み・継続 ・火打山ライチョウ保全のクラウドファンディング・入域料活用(妙高市) ■新規 ・新たな財源確保に向けた取組の検討(妙高市) ・妙高市の事例を参考に、各構成員の要望に応じた他地域への展開(各構成員、連絡協議会) ・各構成員からの要望に応じたローカル版オフィシャルパートナーシップの活用(連絡協議会) 	No. 5

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	短中期の主な目標 (達成年度2021年)	左の個別 目標に対 する中間 評価 ○○△×	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
良好	な景観形成								
(2)	良好な景観形 成	当公園らしい景観 が保全活用され、 景観でメシが食え ている状態	・問題意識と価値付けの不足 ・公園計画や管理計画が景観保全に貢献不足		・当国立公園らしい風景の発掘	_	・一目五山32選発掘フォトコンテストやロングトレイル検討を通して、資源の発掘、写真展等で活用している。	■実施済み・継続 ・一目五山写真展等(連絡協議会) ・ロングトレイルの普及や来訪者による風景の再発掘(各構成員、連絡協議会) ■新規 ・あまとみトレイルの広報(各構成員、連絡協議会) ・あまとみトレイルのフォトコンテストの実施(連絡協議会)	No. 6
				Δ	・当国立公園らしい風景の保全活用		・戸隠地域において重伝建地域指定を受けた。 ・戸隠地域において、茅葺屋根の保全に向けた、ボランティアを募集し茅がりを実施。 ・管理運営計画の変更作業中。	■実施済み・継続 ・戸隠地域で竹細エテーマのモデルツアー(連絡協議会) ・戸隠地域の重伝建地域指定(長野市)※風致景観の向上・伝統的建造物の利用促進 ・萱刈事業(長野市・まちづくり協議会)等との協働による景観改善(長野市・まちづくり協議会・戸隠観光協会) ・国有林での景観に配慮した施業(上越森林管理署、北信森林管理署)※夢見平遊歩道の利用促進へ ・夢見平遊歩道の修景施業の継続(上越森林管理署) ・管理運営計画の策定(環境省) ■新規 ・修景伐採等の実施(信濃町) ・補助金等を活用した景観上課題となる施設等(電柱等人工物)、修景を阻害する樹木等の改善及び整備(各構成員、連絡協議会) ・風景及び成り立ちを付加価値とした農産品・工芸品等の普及・ブランド化(各構成員) ・ボランティアによる景観保全活動の体系構築(各構成員)	No. 7
					・歩きたくなる街や良好な視点 場への改善準備	Δ	・一部地域において景観づくり勉強会を実施した(2018年)が、継続的な実施や他地域への展開に至っていない。 ・管理運営計画の検討の中で意見交換会を実施した。 ・「明るく入りやすい店」の事例収集と地域への浸透などの具体的な取り組みは未実施である。	■新規 ・各構成員より要望があれば、希望する地域又は他国立公園での景観づくり勉強会の開催(連絡協議会)	No. 8
					・歩きたくなる街への改善、町並み景観の改善	×	・具体的取組は未実施。	■実施済み・継続 ・当国立公園のサイン統一デザイン基準の普及(連絡協議会) ・補助金を活用した民間事業者による利用拠点の上質化の推進(「国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業補助金」)(環境省) ・統一デザイン基準にのっとったサインの設置(各構成員) ・管理運営計画の普及(連絡協議会) ■新規 ・「良好な景観づくりの手引き」(2018年に連絡協議会作成)を活用した取組の推進(連絡協議会HPに掲載)(各構成員)	No. 9

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年)の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	短中期の主な目標 (達成年度2019年)	左の個別対目標の個別対す。 の の の の の の の の の の の の の	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
歩く利	川用の活性化								1
	ロングトレイ ルの設置		・長距離自然歩 道を含め、歩く 利用の不足 ・協働体制の末 構築		ロングトレイル名及びコースの 決定	0	・2021年に名称及びシンボルマーク、一部開通区間を決定、2021年中の開通を予定している。	■実施済み・継続 ・あまとみトレイル延伸ルートの開通に向けた検討(連絡協議会) ・あまとみトレイルの広報活動(ポスター作成・記念ツアー開催※実施済み)(各構成員、連絡協議会) ・名称及びコースの積極的な普及啓発と利用の促進(各構成員、連絡協議会)	No. 10
					サインの決定	0	・2021年にロングトレイルの標識標準図を作成し、順次サイン等を設置予定である。	■実施済み・継続 ・2020年策定の「ロングトレイルの標識標準図」に則ったサイン設置(連絡協議会・管理団体となるNPO) ・サインの設置の継続(延伸ルート含めて2023年まで)(連絡協議会) ・戸隠古道を中心とした標識・マップの整備(戸隠観光協会)	No. 11
				0	管理運営体制の構築、プレイベ ントの実施	Δ	・ロングトレイルの管理運営を担うNP0法人	■実施済み・継続 ・管理運営団体となるNPO設立に向けた取組(NPO) ・歩く利用部会の中での管理運営体制の調整(連絡協議会) ・管理運営体制の強化(連絡協議会・NPO・ガイド組合) ■新規 ・市町村連携での全線開通時のイベント実施及び周知(連絡協議会) ・全線ロングトレイルツアーの実施(連絡協議会) ・管理運営のための資金確保のための体制作り(連絡協議会) ・管理運営を担うNPO法人が自立した運営を出来るようにサポート(連絡協議会)	No. 12
					開通	0		■実施済み・継続 ・あまとみトレイル延伸ルートの開通に向けた検討(連絡協議会・NPO)	No. 13
(4)	サインの統一	分かりやすく当国 立公園らしいデザ インのサインが、 適所に設置されて いる状態	・デザインや表記の不統一・設置箇所の過不足		「妙高戸隠連山国立公園におけるサインの統一基準(仮称)」 の策定	0	・2019年度にサイン統一デザイン基準を策定 し、ホームページで公開している。	■実施済み・継続・継続的に普及啓発をしていくとともに、社会状況等により改訂の必要があれば検討(連絡協議会)	No. 14
					設置主体が、統一基準に基づき順次設置	Δ	・予算確保ができた主体が必要に応じて順次 設置されている。 ・不要な標識等の撤去が進んでいない。	■実施済み・継続 ・統一デザイン基準にのっとったサインの更新・設置(各構成員) ・不要標識の撤去(各構成員) ・サイン更新状況の情報共有(連絡協議会)	No. 15

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年)の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	短中期の主な目標 (達成年度2019年)	左の個別 目標に时 する評価 ◎○△×	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
(5)	登山の活性化	ことができ、地域 活性化に貢献する	・管理不足及び 整備水準に悩む 登山道の存在 ・登山による地 域活性化の不足		・登山道管理推進の手法の検 討・試行	0		■実施済み・継続 ・妙高連峰の登山道保全管理計画の検討(2020年度~)(連絡協議会)	No. 16
					・既存の取組の継続と連携	0	・既存の登山道管理補修や草刈り等の取組はだいたい継続している。 ・各山域の関係者が集まり登山道整備講習会の実施や会議開催により、連携が一部で始まっている。	■実施済み・継続 ・管理計画(現在検討中)に基づいた維持管理(連絡協議会) ・登山道維持管理の継続(連絡協議会・各構成員) ・近自然工法による登山道の整備・維持管理(小谷温泉旅館組合) ・トイレブースの設置、清掃・改修等管理、普及啓発(小谷村、小谷温泉旅館組合、戸隠登山ガイド組合、環境省) ・グリーンワーカー事業での携帯トイレ普及啓発(環境省) ・登山道の維持管理(小谷村、小谷温泉旅館組合、糸魚川市、元高谷池ヒュッテ管理人、新潟県、妙高市、信濃町、飯綱町、飯綱岳友会、戸隠登山ガイド組合) ■新規 ・連絡協議会及び各主体が情報発信する登山マップ等で携帯トイレの持参の呼びかけ(各構成員) ・各構成員からの要望に応じて登山道整備講習会を開催(連絡協議会) ・連絡協議会IPで各構成員から提供された各取組を共有、発信(連絡協議会)	No. 17
				0	・1つの山域としての情報発信	×	・各市町村単位の情報発信はあるが、1つの 山域としての情報発信は行われていない。	■実施済み・継続 ・登山情報の情報発信(各構成員) ・山に関する企画展・講演会の開催(糸魚川市、フォッサマグナミュージアム) ・糸魚川登山情報サイト(登山ガイド)での情報発信(イベント情報等) ・協議会フェイスブックでの登山道関係の情報の継続発信(連絡協議会) ■新規 ・連絡協議会ホームページなどでの登山情報の一元発信(連絡協議会)	No. 18
					・ガイド付き登山推進やインバ ウンド利用等、山域利用のあり 方の検討	Δ	・国立公園のサイン統一デザイン基準を策定 (2019年)、英語表記を定めた。 ・ガイド付き登山推進やインバウンド利用 等、山域利用のあり方の検討は行っていな い。	■実施済み・継続 ・ガイド付登山の実施(ガイド組合等) ・ガイド登山の実施(ガイド組合等) ・ガイド養成及びガイド付き登山の周知(戸隠観光協会) ・2015年作成の山登りマップの活用(連絡協議会) ・火打ちやまなびの運用(妙高市、連絡協議会) ・登山マップの英語版作成(糸魚川市) ・防災学習のための出前講座、見学会、企画展などの実施(糸魚川フォッサマグナミュージアム) ・出前講座・企画展等の実施(継続)(糸魚川市) ■新規 ・ツアーデスク運営(妙高高原ビジターセンター)(妙高市)	No. 19

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年) の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	短中期の主な目標 (達成年度2021年)	左の個別 目標に対 する中間 評価 ◎○△×	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	: 10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
エコッ	アーの活性化								
(6)	多様なエコツ アープログラ ム作り	イドによって実施	イドの、地域 間の連携不 足、質のばら つきや量の不		(宝探し)資源の掘り起こし	0	・ロングトレイル検討、一目五山32選発掘 フォトコンテストを実施し、写真展を開催し ている。	 ■実施済み・継続 ・環境学習、自然観察に関するプログラムづくり・実施(野尻湖ナウマンゾウ博物館) ・野尻湖ナウマンゾウ博物館の氷河時代案内人育成(野尻湖ナウマンゾウ博物館) ■新規 ・博物展示施設の職員からガイドへの勉強会の実施(各構成員) ・地域にあるちょっとした資源の掘り起こし(各構成員) 	No. 20
					(宝を磨く)プログラムの検討・ 試行	0	・一部で自然観察会等を実施中。 ・国立公園と連携した糸魚川ジオツアーをモ デル的に実施した。	■実施済み・継続 ・観光協会・ガイドによるプログラム実施(妙高市、戸隠登山ガイド組合、戸隠観光協会、飯綱高原観光協会、長野市、糸魚川マグナフォッサミュージアム) ・ふれあい活動の支援(上越森林管理署) ・2017年に竹細工をテーマとしたモデルツアーの実施(連絡協議会) ・国立公園と連携した糸魚川ジオツアーのモデル的実施(環境省) ・冬季利用の推進に向けた企画開発(戸隠高原)(戸隠観光協会) ・モデルツアー(アドベンチャーツーリズム)の実施(糸魚川市) ■新規 ・ツアーデスク運営(妙高高原ビジターセンター)(妙高市) ・掘り起こした資源の具体的なプログラムへの落とし込み、モニターツアー等の実施(各構成員、連絡協議会)	No. 21
				Δ	(宝を守る)資源の保全に係る検 討		・妙高市は希少動植物保護条例を令和3年4月 1日に施行。	■実施済み・継続・希少動植物保護条例(令和3年4月1日施行~)(妙高市)・監視活動の継続(妙高市)■新規・モニターツアーの実施に合わせて、活用する資源の保全ルール、マナー等を検討(各構成員)	No. 22
(7)	質の高いガイ ドの体制作り				当国立公園のガイドの情報整理	©	・エコツーリズム部会においてガイドへのアンケートを実施しガイドの情報をまとめた。	■実施済み・継続・ガイドへのアンケート調査実施(連絡協議会) (済み)■新規・他地域のガイド制度事例の収集等(連絡協議会)	No. 23
					ガイド育成のモデル的な実施	0	セラピスト (小谷村、信濃町、妙高市) が運 用中である。	・戸隠地域においてガイド制度の継続(戸隠登山ガイド組合) ・ジオガイド(糸魚川市・糸魚川市観光協会)、森林セラピスト(妙高市、信濃町、小谷村)制度及び活用の継続 ・インバウンド対応のガイド養成(戸隠観光協会) ・ジオパークガイドの自主研修の実施(糸魚川市)	No. 24
					ガイド体制の検討	×	・連絡協議会としては未実施。 ・戸隠地域では、体制強化のためガイド組合 を観光協会に組み込んだ。	■新規 ・山岳ガイドの育成に向けた検討(糸魚川市) ・妙高高原ビジターセンターツアーデスクにおける既存ガイド組織との調整によるガイド活躍の場の整備(妙高市) ・「あまとみトレイル」や広域連携が求められる新たな需要に応えるための連携体制の強化(連絡協議会) ・各主体が関わるガイドや制度に関する情報の連絡協議会での共有(連絡協議会) ・各主体によるガイドの育成(各構成員)	No. 25

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年) の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	領中期の主か日煙	左の個別 目標に中間 する可価 ◎○△×	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
情報発	信の強化			•					
(8)	情報発信の強 化	1つの観光圏として、エコツアーを 中心とした長期滞 在や周遊利用がな されている状態	当公園の名前や 魅力が、1つの 観光圏として発 信されていない		・地域を含めた国内へ、国立公 園の存在や魅力の発信	0	展等を通して、地域住民への周知を図っている。	・フォトコンテストの実施(糸魚川市) ・地域住民への国立公園の存在や魅力の発信(連絡協議会)	No. 26
					・速効性のある誘客	©	・SNSで旬の情報を発信している。	■実施済み・継続 ・各構成員によるタイムリーな情報発信(HP、インスタグラム等SNS)(各構成員、連絡協議会)・オフィシャルパートナーの仕組みを活かした地域外への情報発信(連絡協議会) ■新規 ・魅力的なイベントの実施(各構成員)・妙高高原ビジターセンターにおける情報発信体制の整備(妙高市)	No. 27
				©	・国内外へ、国立公園存在や魅 力の発信		を発信中。 ・一元的情報発信として四季ごとのイベント チラシを作成(現在停止中)。	■実施済み・継続 ・国立公園総合ガイドブックの配布(連絡協議会) ・長野県公式観光サイト「GoNAGANO」での魅力発信(長野県) ■新規 ・外国語ホームページの開設(小谷村)※令和3年度実施予定 ・インバウンド対応情報発信の強化(HPの作成)(戸隠観光協会) ・妙高高原ビジターセンターにおける情報発信体制の整備(妙高市、環境省) ・当国立公園・連絡協議会HPでの情報発信(環境省、連絡協議会) ・進化する情報発信ツールや、新しいマーケティング手法を活用し、ターゲットに合わせた効果的な情報発信の検討(連絡協議会) ・進化する情報発信ツールや、新しいマーケティング手法を活用し、ターゲットに合わせた効果的な情報発信の検討(連絡協議会) ・各主体の国立公園に関係する観光情報等での国立公園名の周知と本国立公園名や魅力の売り出し(各構成員)	No. 28
					・各種取組に関係する情報発信 の試行	Δ	・長野パルセイロと締結。 ・東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)の長野・上越、両管理事務所とも締結に向けて調整中。 ・オフィシャルパートナーシップを利用した 魅力発信は行われていない。 ・旅行商品の販売先開拓には至っていない。	■実施済み・継続 ・ローカル版オフィシャルパートナーシップ締結先との連携(連絡協議会) ■新規 ・希望する各構成員によるオフィシャルパートナー制度を活用した観光商品の開発や連携(各構成員) ・既存の観光圏とも連携し、商品のPR先を拡大(各構成員)	No. 28

	重点事項	10年後(2026年) に目指す状態	当初計画時 (2017年) の 主な課題	中間評価 (2021年6 月実施の第 1回幹事会 にて)	短中期の主な目標 (達成年度2021年)	左の個別 目標に対 する中間 評価 ◎○△×	中間評価時点(2021年6月実施の第1回幹 事会)の現状	10年後(2026年)の目標達成に向けて 取り組むべき行動	番号
	↓		+ α の必要な取 組						
(9)	エコツーリズ ム推進全体構 想の認定地域 へ	当国立公園が、 「日本一の遊学 舎」となっている 状態	_		エコツーリズム推進全体構想の 申請 (5年後程度)	×	連絡協議会として具体的な検討には至っていない。	 ■実施済み・継続 ・ジオパークガイドとの連携によるエコツーリズムの推進(糸魚川市) ■新規 ・脱炭素に向けた行動を積極的に取り入れた観光地づくりの中期計画の検討(戸隠観光協会) ・多様なエコツアープログラム作りや質の高いガイドの体制作りの進捗状況を踏まえた全体構想の検討(各市町村、連絡協議会) 	No. 29

^{※ 「}遊学舎」とは 当国立公園全体が、「海以外の遊びや学びを、四季折々にできる」、いわば「自然遊びのテーマパーク」であること、自然観察、化石発掘体験、地形地質の学習や山岳信仰に関する体験等、知的好奇心を満たす様々な学びもできる「自 然と文化の博物館」であることを、当国立公園では「"自然×文化"の遊学舎(まなびや)」と呼ぶことととしています。(当国立公園「ビジョン」より)

令和3年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 活動報告 (案)

令和3年度は「幹事会」のほか、「総会」、「歩く利用部会」、「情報発信部会」及び「妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会」を開催し、行動計画の目標実現に向けて以下の取組を実施した。なお、取組は協議会構成員をはじめ地域住民を含めた協働で行った。

(1) 国立公園計画

○管理運営計画策定に向けた作業

素案については、関係する国の出先機関及び地方自治体と意見調整を行い本省に報告済み。 令和4年1月17日~2月17日まで意見の募集(パブリック・コメント)を行っているところ。 なお、規制の変更要望意見については、具体的な内容が提出された時点で、あらためて協議を 開始することとし、現状の規制内容で手続きを進めている。(環境省)

○行動計画の見直しに向けた作業

当国立公園の行動計画が令和2年度で満5年となったことから、目標達成年の令和7年度に向け、これまでの取組の中間評価及び今後5年間で強化すべき取組、新規取組について、検討した。(連絡協議会)

(2) 生物多様性の保全

○火打山におけるライチョウ保全に関する取組

・地球温暖化の影響で植生の変化が認められる火打山において、令和元年度までの試験結果を踏まえ、令和2年度に大規模試験区(約50m×約50m×2箇所)を設定しイネ科植物の除去事業を本年度も行い、ライチョウの生息環境改善及び高山帯の生態系保全について評価を行った。(有識者・環境サポーターズ・妙高市・環境省・上越森林管理署)





令和3年度8月 作業の様子(右写真はライチョウ平に現れたライチョウ)

○笹ヶ峰高原、いもり池周辺等での外来種に対する取組

①特定外来生物オオハンゴンソウ防除

火打山の登山口の一つである笹ヶ峰やいもり池周辺において、オオハンゴンソウの防除を構成員等が協力して行った。(地域住民・ボランティア・妙高ツーリズムマネジメント・妙高市・環境省・上越森林管理署)





防除の様子

②いもり池外来スイレン対策

いもり池の水面に妙高山が映る「逆さ妙高」の景色を取り戻すため、外来スイレン対策事業を行った。妙高市が主体となり構成員等が協力し、いもり池の一部において、防草シートの追加設置(約1400㎡)とスイレン刈り取りを行った。(地域住民・ボランティア・妙高ツーリズムマネジメント・妙高市・環境省)







スイレン刈り 作

業前 スイレン刈り 作業後

手作業での刈り取り

○大谷地湿原での湿原植生の保全に関する取組

- ・キショウブの駆除後の経過観察・監視を行った。(長野市・飯綱高原観光協会)
- ・飯綱高原の大谷地湿原では、キショウブなどの外来植物やヨシの繁茂がみられ、乾燥地化が懸念されている。その対策として長野市が観光協会にヨシ刈りを依頼し実施した。(長野市・飯綱高原観光協会)

○国有林等でのニホンジカ等対策

- ・センサーカメラを用いた生息状況調査等を実施した。(上越森林管理署・北信森林管理署)
- ・霊仙寺山国有林で有害鳥獣捕獲業務委託(信濃町猟友会)を実施した。(北信森林管理署)
- ・鳥獣被害対策実施隊による妙高山山麓周辺のニホンジカ等の生息確認及び駆除を実施した。(妙高市)

○戸隠森林植物園周辺でのゴミ拾い及び外来種に対する取組

緊急事態宣言発出のため中止(国有林野関係団体・戸隠観光協会・長野市・環境省)

○自然環境保全基礎調査、指定植物調査の実施

・平成28年度から実施している指定植物検討のための作業を継続して実施した。現在、環境省本 省で関係省庁への意見照会等を実施中。(環境省)

(3) 良好な景観形成

○「一目五山写真展」の実施

平成 29 年度に実施した「一目五山の絶景 32 選発掘フォトコンテスト」で選定された写真を中心に写真展を継続開催した。(連絡協議会)

○国有林内における景観に配慮した施業

針広混交林化、天然林等の自然環境保全、保護林、緑の回廊等における森林の適切な保全・ 管理、修景伐採(夢見平遊歩道周辺)を実施した。(上越森林管理署)

(4) ロングトレイルの設置(連絡協議会)

○開通に向けた作業

①代替ルートの検討

令和2年度までに決定したルートのうち、土地所有者との交渉等により通行困難となったルート(信濃町内)について、代替ルートを検討し、土地所有者との交渉を行った。

②名称、シンボルマークの決定

名称及びシンボルマークを歩く利用部会、幹事会、総会の承認を経て、決定し、公表した。

名称:「あまとみトレイル」

妙高戸隠連山国立公園や周辺を代表する地名である雨飾、斑尾、戸隠、妙高、 それぞれの名称から頭文字を1文字ずつとり、「あまとみ」としています。こち らの名のもとに、地域を越え、分離独立を果たすほどに個性ある自然と、そこ に暮す人、文化を結ぶトレイルとなることを目指します。



シンボルマーク→

③標識の作成及び設置

名称及びシンボルマークの決定(8月5日開催の総会にて承認)をうけ、ルート上に設置する標識を作成し、土地所有者の了解や関係法令手続きが完了した箇所に設置した(今後も随時設置予定)。また、今後の管理運営のために標識台帳を整備した。

④維持管理体制の検討

「あまとみトレイル」の今後の維持管理体制及びタスクについて、歩く利用部会で検討した。

⑤協議会 HP の「ロングトレイル」ページを「あまとみトレイル」ページとして内容の充実 トレイルに関する「お知らせ」、「トレイルの歩き方」、「ルートマップ」等の情報を掲載した。

○開通式典及び記念ツアーの実施

- ①開涌式典の実施
 - ◆日時 令和3年10月23日(土)

11 時 30 分~

- ◆場所 信濃町公民館野尻湖支館
- ◆内容 主催者挨拶

関係者挨拶(信濃町町長・妙高市市長)

あまとみトレイル紹介

記念催し物(地元こどもダンスチーム)

テープカット、記念撮影



◆参加者数 46名

②記念ツアーの実施

- ◆日時 令和3年10月23日(土)12時45分~
- ◆場所 信濃町公民館野尻湖支館~妙高高原ビジターセンター (いもり池)
- ◆内容 12:45 スタート

約10km 各グループに分かれてガイドツアー

各班ガイド:A班 西田幸平

(しなのディスカバリー代表・登山ガイド・歩く利用部会副会長)

B 班 杉本晴美 (日本山岳ガイド協会認定 登山ガイド)

C 班 土屋達郎 (登山ガイド)

D班 林部直樹 (歩く利用部会長)

E 班 折原直廣 (環境省国立公園利用企画官)

16:30頃 妙高ビジターセンター到着

◆参加者数 29 名







左2枚 風景を楽しみながら歩く、右 おつかれさまでした! (新しい妙高高原ビジターセンターで)

(5)登山の活性化

○登山道・歩道の維持管理

連絡協議会構成員、維持管理団体等によって、登山道の草刈り、補修等が実施された。(各 関係主体)

○携帯トイレ利用の普及啓発

- ・携帯トイレブースの設置、定期清掃を行った。また、引き続きセブンイレブン花咲店において、環境省作成のポップを設置して貰い、戸隠デザインのオリジナル携帯トイレの普及啓発を行った。(妙高市、長野市、小谷村、環境省)
- ・携帯トイレブースが設置されている山域の登山口周辺において、携帯トイレの利用促進に向けた普及啓発活動を行う。(妙高市、長野市、小谷村)

○火打やまナビの運用

火打山登山道に設置されたビーコンを利用して、スマートフォンで火打山の情報を登山者が受け取るアプリ「火打やまナビ」の運用を行った。アプリ作成・立ち上げは環境省が、改良・運用・維持管理は妙高市が実施した。(妙高市)

(2022 年 1 月 24 日時点のダウンロード数:978 件、137 件 増加/年)



○火打山・妙高山地域で地域資産法に基づいた入域料導入

火打山と妙高山地域(妙高市内)で、自然環境保全や登山道保全整備のために入域料収受を令和3年7月1日~10月31日まで実施した。本年度の収受額は、登山口3カ所+事前決済をあわせて4,223,199円。(有識者、妙高市、新潟県、環境省、上越森林管理署)

○妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会の実施

妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等を設定するための意見交換を実施した。「登山道保全管理計画」案を作成中。(有識者、地元登山道維持管理関係者、小谷村、小谷村観光連盟、糸魚川市、糸魚川市観光協会、妙高市、妙高ツーリズムマネジメント、新潟県、上越森林管理署、環境省)

(6) エコツアーの活性化

○長期滯在コースの設定、PR

「日本の国立公園コンテンツ集 2021-2022」において、上信越高原国立公園、中部山岳国立公園を併せて巡る長期滞在コースを設定し、追加のコンテンツも掲載した。(環境省)



○環境省農山漁村体験プロジェクト事業 (子どもパークレンジャー)

環境省事業及び戸隠小学校の授業の一環として、 博物館やガイド等の地域講師から地域の自然文化 を学ぶ地域学習を開催した。また、6年生が学んだ 内容をもとして地域の文化や自然を紹介するパン フレットを作成した。回覧板と一緒に戸隠地域に全 戸配布予定。(環境省)



○妙高戸隠連山国立公園滯在型コンテンツの開発検討業務

妙高戸隠連山国立公園内の利用を推進するため、 キャンプ場等と E-Bike の連携方法を検討し、国立公 園内における滞在推進のためモデルルート等を検討 した。(環境省)



(7)情報発信の強化

○協議会ホームページ及び Facebook 情報の拡充

協議会ホームページにおいて、イベント等の各種情報を掲載するなど内容の充実を図った。 2021年1月18日から2022年1月21日現在までに360件を投稿。フォロワー数は730人(2021年1月18日時点)から801人(2022年1月21日時点)に増加。Facebookについては、環境省以外も編集者となり各方面からの投稿拡充を図った。(連絡協議会)

2021	戸隠観光協会	妙高ツーリズム マネジメント	環境省	TOTAL
1月	13	1	1	15
2 月	19	2	10	31
3 月	17	1	4	22
4 月	47		6	53
5 月	58	2		60
6 月	52	1	6	59
7月	50		3	53
8月	21		4	25
9月	12	1	4	17
10 月	6	1	5	12
11 月	1	1	1	3
12 月			6	6
2022 1 月	2		2	4
TOTAL	298	10	52	360
%	82.8%	2.8%	14.4%	

○デジタルサイネージ等を活用した情報発信

「写真展 【国立公園を歩こう】〜妙高戸隠国立公園とあまとみトレイル〜」(令和3年7月8日〜8月10日、ギャラリープラザ長野)を実施した。(環境省)

○各構成員による国立公園の積極的な発信

• 栂海新道 50 周年記念事業(糸魚川市)

実施時期 : 令和3年7月22日~令和3年11月30日

実施場所: フォッサマグナミュージアムほか

目的: 栂海新道企画展にあわせ、本公園の魅力を紹介した。



■開催期間 7月8日(木)~8月10日(火) 9:00~16:00 ※±目校日は■場所 八十二文化財団 ギャラリーブラザ長野

据は、長期間スケート、少声のボットを前から着か、風湿山放工で他のコンテレイル 時間記念といきで、遊のガッかのが見来なが、実際に表現。、開発を参加、 ルー・世間をディットを引えた。 最初の「基金ナルイン」にや正は他の機能がから、多の規定がからま、例のデ 組がひと、なり意識がからよこの地震を吹きる山の前太平を立って会付ける。 私上な、 があず事場本席のの機能を行まるため、サイバンの上がしい策定と関です。そんな時 高戸路道園は立り業をで表する最大が終む場所を必要、近を変化なりもつじか情報

(SNV664) SUK PROSESSARE TE, 026-254-3060



○その他

妙高戸隠連山国立公園山登りマップ (7,000 部) の増刷を行う予定 (令和4年1月現在)。 (環境省)

(8)協議会としての体制の充実

○妙高戸隠連山国立公園版オフィシャルパートナーシップの仕組みづくり

協議会が本国立公園で行う取組の充実を目指すため、協議会と地域の企業・団体等が相互に協力し、「自然環境保全に関係する活動」、「適正な公園利用の推進に関係する活動」、「国立公園の魅力を発信する活動」、「本協議会の取組への協賛」といった活動等を行うため、妙高戸隠連山国立公園版オフィシャルパートナーシップの仕組みづくりを進めた。

令和3年度中に、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ(長野市)、NEXCO 東日本 長野管理事務所、NEXCO 東日本上越管理事務所とパートナーシップを締結した。(連絡協議会)

令和3年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 歳入歳出決算(案)

歳入総額 1,493,543 円 歳出総額 1,399,810 円 差引総額 93,733 円

1. 歳入の部 (単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	摘要
1	負担金	715, 000	715, 000	0	6 市町村の合計 (ベース 5 万円+国立公園面積比率割)
2	補助金	0	0	0	
3	繰越金	778, 532	778, 532	0	
4	その他	0	11	11	利子
	合計	1, 493, 532	1, 493, 543	11	

2. 歳出の部

////	が The state of t				
	科目	予算額	決算額	増減	摘要
1	会議費	0	0	0	協議会運営費は、環境省負担
2	事務費	5,000	3, 300	1,700	郵送料、振込手数料等
		1, 100, 000	1, 396, 510	-296, 510	92, 400 協議会ホームページ保守経費
3					928,000 あまとみトレイル道標購入 (A型道標購入)
	事業費 業務費				2,310 あまとみトレイル等購入 (A型道標のプレート固定用ネジ購入)
					あまとみトレイル等購入 373,800 (シンボルマークシール、案内用ステッカー、矢印シール購入)
4	予備費	388, 532	0	388, 532	
	合計	1, 493, 532	1, 399, 810	93, 722	

監査書

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の令和3年度収支決算について、諸 帳簿及び証拠書によって監査したところ、その内容は適正であることを 認めます。

令和 4年 2月 2日

監事

野尻湖ナウマンゾウ博物館

館長 近藤 洋一



一般社団法人 飯綱町観光協会

会長 山田 保和



資料3

(第3号議

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 役員選出 (案)

【役員】

役職	人数	構成員名(案)
会長	1名	信越自然環境事務所長 (令和3年度 信越自然環境事務所長)
副会長	2名	長野市長 (令和3年度 長野市長)
断公区	2 石	妙高市長 (令和3年度 妙高市長)
監事	9. <i>k</i> z	元高谷池ヒュッテ管理人 築田 博 (令和3年度 野尻湖ナウマンゾウ博物館長)
监 争	2名	一般社団法人 小谷村観光連盟 (令和3年度 飯綱町観光協会会長)

(総会・幹事会の事務局及び経理担当)

	構成員名(案)		
事務局	信越自然環境事務所 (令和3年度 信越自然環境事務所)		
経理担当	飯綱町 (令和3年度 小谷村)		

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 活動計画 (案)

平成 27 年 3 月の妙高戸隠連山国立公園の指定を受け、平成 28 年度から協議会を設立し 行動計画に基づいた各種取組を実施してきた。令和 4 年度は、行動計画の目標実現に向け、 これまでの取組結果を踏まえて本活動計画を、協議会構成員との協働により実施する。

(1) 国立公園計画等

○管理運営計画策定に向けた作業

・環境省本省がパブリックコメント等の事務手続きを実施し完成させる。(環境省)

(2) 生物多様性の保全

- ◆市民・研究者・行政が一体となって保全活動を実施
- ◆生物多様性を保全し、かつ適正な利用の推進

○火打山におけるライチョウ保全に関する取組

・地球温暖化の影響で植生の変化が認められる火打山において、大規模試験区(約50m×約50m×2箇所)でイネ科植物の除去事業を行い、ライチョウの生息環境改善及び高山帯の生態系保全についての評価を行う。(有識者・環境サポーターズ・妙高市・環境省)

○笹ヶ峰高原、いもり池周辺等での外来種に対する取組

・特定外来生物オオハンゴンソウ防除を笹ヶ峰高原やいもり池周辺において、また、外来スイレン対策をいもり池において、構成員等が協力して行う。(地域住民・妙高ツーリズムマネジメント・妙高市・環境省・上越森林管理署)

○大谷地湿原での湿原植生の保全に関する取組

・大谷地湿原の外来種やヨシの繁茂、乾燥化の対策として、引き続きヨシの刈取りを行 う。作業は長野市が中心となり、構成員が協力して実施する。(長野市、飯綱高原観 光協会、環境省)

○国有林等でのニホンジカ等対策

- ・センサーカメラを用いた生息状況調査等を実施する。 (上越森林管理署・北信森林管理署)
- ・霊仙寺山及び黒姫山国有林で有害鳥獣捕獲業務委託を実施する。(北信森林管理署)
- ・鳥獣被害対策実施隊による妙高山山麓周辺のニホンジカ等の生息確認及び駆除を実施する。(妙高市)

○戸隠森林植物園周辺でのゴミ拾い及び外来種に対する取組

・5月30日に北信森林管理署の主催で、構成員等と協力してゴミ拾い及び外来種除去を 実施する。(国有林野関係団体・戸隠観光協会・長野市・環境省)

○自然環境保全基礎調査、指定植物調査の実施

・平成 28 年度から実施している指定植物検討のための作業を継続して実施した。現在、 環境省本省で作業を実施中。令和4年度中に指定予定。(環境省)

○環境省生物多様性センター「いきものログ」活用の推進

・要望があった関係市町村及び博物館施設、学校等で、「いきものログ」を活用した生物情報の一元管理を図るため、活用推進に向けた普及啓発を行う。(連絡協議会)

○民間参画、市場メカニズムを活用した保全費用の確保の推進

- ・妙高市による入域料導入の実績を生かし、他地域への展開を図る。(連絡協議会)
- ・火打山と妙高山における地域自然資産法による入域料の徴収を行うと共に、ライチョウ保護のクラウドファンディングを行う(妙高市)

(3) 良好な景観形成

◆当国立公園らしい良好な景観が地域資源として適切に保全活用

○国立公園内における景観改善

- ・自然公園法等の関係法規並びに新潟県景観計画に基づく届出制度等により、良好な景 観形成を図る。(妙高市)
- ・「良好な景観づくりの手引き」(2018年に連絡協議会作成)を活用した景観改善の推進 を行う。(連絡協議会)

(4) ロングトレイルの設置

- ◆当国立公園を"つなぐ"ことを目的として協働体制を構築
- ◆地域の滞在時間の延長、広域的な周遊利用の増加、インバウンドの増加等 ⇒国立公園を通した地域活性化

○「あまとみトレイル」維持管理にあたっての維持管理団体へのサポート

・令和3年に開通した長野駅~戸隠~笹ヶ峰~野尻湖~斑尾山の区間の維持管理にあたって、維持管理団体の活動を連絡協議会としてサポートする。(連絡協議会)

○「あまとみトレイル」延伸ルートの検討

・ 笹ヶ峰〜糸魚川区間の開通に向け、踏査、土地所有者調査等を実施する。(連絡協議会)

○「あまとみトレイル」フォトコンテストの実施

・「あまとみトレイル」の管理運営体制が決まり、雪解け後の再開通の見通しが立てば、 開通後に「あまとみトレイル」のさらなる魅力を発掘し、広く知ってもらう機会とし て、「あまとみトレイル」フォトコンテストを実施する。(連絡協議会)

(5)登山の活性化

- ◆安全な登山利用の推進
- ◆登山道の維持管理体制の構築

○協議会ホームページでの登山情報の一元発信を検討

・連絡協議会ホームページなどでの登山情報の一元発信を行う。(連絡協議会)

○火打やまナビの運用

・火打山登山道に設置された、ビーコンを利用してスマートフォンで火打山の情報を登山者が受け取るアプリ「火打やまナビ」の運用を引き続き行う。(妙高市)

〇火打山・妙高山地域で地域自然資産法に基づいた入域料導入

・火打山・妙高山地域(妙高市内)で、自然環境保全や登山道保全整備のために入域料 収受を実施する。(地元有識者、妙高市、新潟県、環境省、上越森林管理署)

○妙高連峰登山道の意見交換会の実施

・妙高連峰登山道の設定した保全整備・維持管理レベル等を運用するための意見交換を 実施する。(有識者、地元登山道維持管理関係者、小谷村、糸魚川市、妙高市、妙高ツ ーリズムマネジメント、新潟県、環境省、上越森林管理署)

○携帯トイレ利用の普及啓発

- ・携帯トイレブースが設置されている山域の登山口周辺において、携帯トイレの利用促進に向けた普及啓発活動を行う。(小谷村、妙高市、長野市)
- ・連絡協議会及び各主体が情報発信する登山マップ等で携帯トイレの持参を呼びかける。 (連絡協議会)

○登山道の巡視

- ・火打山、妙高山等をGSS(グリーンサポートスタッフ)による巡視活動を実施する。 (上越森林管理署)
- ・戸隠森林植物園をGSS(グリーンサポートスタッフ)による巡視活動を実施する。 (北信森林管理署)
- ・各機関の管轄登山道の巡視活動を実施する。(各市町村、長野県、新潟県、環境省)

(6) エコツアーの活性化

- ◆地域資源の保全と利用の両立
- ◆滞在時間の延長、地域のブランド化

○ガイド情報及び他事例ガイド制度等の情報収集

・当国立公園のガイドの質を高め、魅力的なエコツアーを提供していくための、参考となる事例を情報収集し、協議会内で共有するとともに、各構成員が関係機関等へ情報 提供する。(連絡協議会)

○環境省農山漁村体験プロジェクト事業(子どもパークレンジャー)による発表会

・環境省事業及び戸隠小学校の授業の一環として、博物館やガイド等の地域講師から地域の自然文化を学ぶ地域学習を開催する。学んだ内容をもとに6年生が主体となりパンフレット等に取りまとめ、地域に向けて発表会やパンフレット配布を行う。(環境省)

○エコツアー活性化に関する新しい取組事例等の共有

・当国立公園及び関係市町村で各主体によって進められているエコツアーの活性化に関する新しい取組(E-Bike など)や優良事例等の情報共有を行う。(連絡協議会)

○長期滞在コースの設定、PR

国立公園の長期滞在コースを掲載している「日本の国立公園コンテンツ集 2021-2022」について、連絡協議会 HP などで PR を行う。また、追加コンテンツの検討を引き続き行う。 (環境省)

(7)情報発信の強化

- ◆妙高戸隠連山国立公園ファンの獲得
- ◆地域としてのまとまりを活かした積極的な情報発信

○各構成員の取組やボランティア募集等の情報発信

・協議会フェイスブック等を活用して、各構成員の取組や、環境保全活動ボランティア 募集情報等を試験的に一元発信する。(連絡協議会)

○妙高戸隠連山国立公園版のオフィシャルパートナーと連携したPR活動の実施

・締結したオフィシャルパートナーと連携し、PR活動を行う。(連絡協議会)

○各構成員による国立公園の積極的な発信(連絡協議会)

・協議会フェイスブックや各構成員フェイスブック、インスタグラム等を活用し、積極 的に国立公園名をPRした情報発信を行う。

- ・デジタルサイネージを活用した PR 事業を行う。なお、デジタルサイネージは環境省でも1台所有しているので貸し出しも行う。
- ・妙高戸隠連山国立公園管理運営方針に沿う事業であって、原則複数の団体が関わり協働して実施する事業を積極的に提案し実施する。なお、提案や計画は他団体への要望ではなく、参画を促すものとする。

(8)協議会としての体制の充実

○妙高戸隠連山国立公園版オフィシャルパートナーシップの締結

・協議会が本国立公園で行う取組の充実を目指すため、協議会と地域の企業・団体等が相互に協力し、「自然環境保全に関係する活動」、「適正な公園利用の推進に関係する活動」、「国立公園の魅力を発信する活動」、「本協議会の取組への協賛」といった活動等を行うため、妙高戸隠連山国立公園版オフィシャルパートナーシップを締結する。(連絡協議会)

(第4号議案) 資料4一②

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 歳入歳出予算(案)

歳入総額808,733 円歳出総額808,733 円差引総額0 円

1. 歳入の部 (単位:円)

	科目	本年度予算額	摘要
1	負担金	715, 000	6 市町村の合計 (ベース 5 万円+国立公園面積比率割)
2	補助金	0	
3	繰越金	93, 733	
4	その他	0	
	合計	808, 733	

2. 歳出の部

科目			本年度予算額	摘要	
1 会議費		0	協議会運営費は、環境省負担		
2	事務費		5, 000	郵送料、振込手数料等	
3	事業費	業務費	800, 000	50,000円 協議会ホームページ改修及びレンタル 料 (含む保守経費) 750,000円 ロングトレイル保守経費	
4	予備費		3, 733		
合計			808, 733		

注)会長の決するところにより、科目間の流用をすることができる。

(参考) 負担金について

(単位:円)

	(千匹・11)
市町村名	負担金額
糸魚川市	105, 000
妙高市	215, 000
長野市	155, 000
信濃町	100, 000
飯綱町	55, 000
小谷村	85,000
小計	715, 000

- ※1 負担金は計70万円を目標とし、「ベース5万円+国立公園面積比率割」により配分。
- **※**2 環境省及び関係県は、「負担金」としての拠出はできないため、それぞれの支出方法による。

新・妙高高原ビジターセンター開設の進捗状況について

●経緯

•平成30年度 : 建設基本計画を策定

·令和元年度 : 実施設計 ·令和2年度 : 建築工事

・令和3年度 : 展示工事、外構工事、カフェ工事

(令和3年10月:トイレ、休憩スペース、案内カウンターの部分開館)

・令和4年2月1日 : ビジターセンター運営委員会開催

・令和4年4月1日 : 新・妙高高原ビジターセンター全面開館

(令和4年5月5日:新・妙高高原ビジターセンター開館記念式典)(予定)

●写真

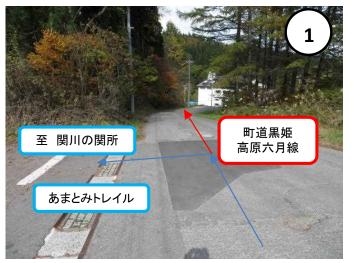














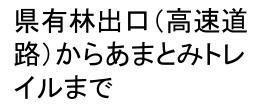


あまとみトレイルからメガ ソーラー・県有林の間





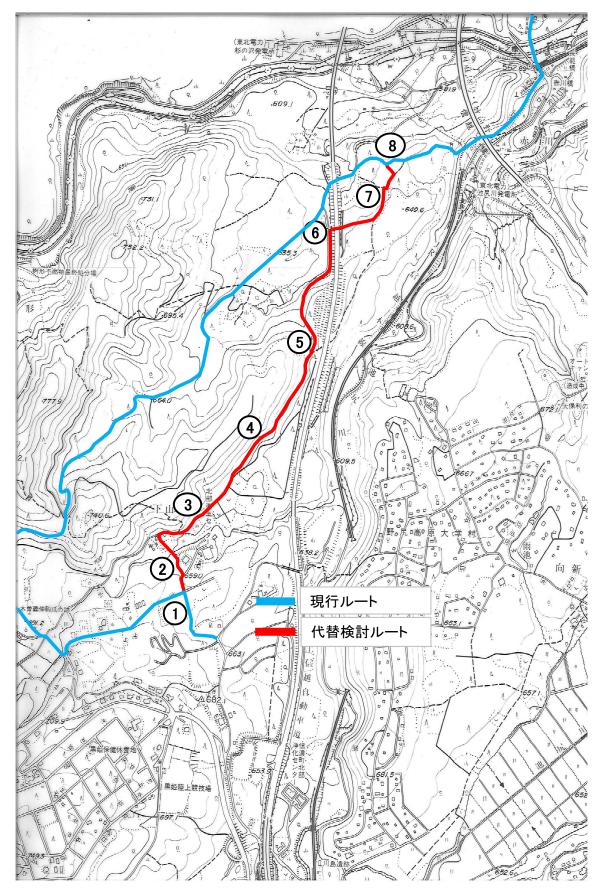








「あまとみトレイル」信濃町の未開通区間の変更



(仮印刷)

5年間の

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 一 設立 5 周年記念 一 平成28(2016)年~令和2(2020)年









■ 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 会長のご挨拶

妙高戸隠連山国立公園は、新潟県と長野県の県境に位置し、糸魚川市・妙高市・長野市・小谷村・信濃町・飯綱町の2県6市町村にまたがり、平成27(2015)年3月に上信越高原国立公園から分離独立して新しく誕生した国立公園です。里や高原から火山・非火山の個性的な形の山々を一望できること、山岳信仰など歴史文化が息づく場所や、湖・池・湿原などが存在することが魅力の一つとなっております。

平成28(2016)年に、本公園の自然環境保全と利用推進を地域関係者が協力して取り組んでいくことを目的として、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」が発足しました。本協議会では、国立公園のビジョンや管理運営方針、行動計画を地域関係者の皆様と共に策定し、各種取組を進めて参りました。

Ranger

環境省 信越自然環境事務所 所長 堀内 洋

これまでに、協議会ホームページの作成、火打山周辺に生息するライチョウ保全の取組、本公園のサイン統一デザイン基準の策定、ロングトレイルの検討、本公園統一イベントの実施、オフィシャルパートナーシップの検討などを行ってきました。

令和3(2021)年10月には検討を進めていたロングトレイル「あまとみトレイル」が一部開通し、また、分離独立した本公園を代表する施設となる妙高高原ビジターセンターを環境省直轄で新設し、令和4(2022)年4月にオープンする予定となっております。

今後も、本公園の基本理念である「温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ」を念頭に置き、本公園の魅力を多くの人々に広め、地域の活性化につながる取組を地域関係者の皆様との協働で進めていきたいと考えております。



もくじ



「妙高戸隠連山国立公園 連絡協議会 5 年間の歩み」 について

妙高戸隠連山国立公園の関係者が協働型の管理運営を実施することによって、当国立公園及び関係が密接な周辺地域の保全および利用を促進することを目的に平成28(2016)年に設立されました。

令和3(2021)年は協議会設立から5年が経ち、これまでの地域の皆さんとの様々な取組について振り返り、共有すること、また今後取組が一層促進されるよう、協議会外部の地域の方々に向けて、当国立公園や連絡協議会を紹介し、その魅力や役割について理解を深めていただくことを目的に、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会5年間の歩み」としてまとめました。

Page

○2 「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 5年間の歩み」について

○3 構成員の市町村長からのご挨拶

○ 9 構成員の有識者からのご挨拶

沙高戸隠連山国立公園と妙高戸隠連山国立公園連絡協議会

13 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の歩み

15 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の概要

17 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 協働の成果

17 ・ビジョン、管理運営方針

18 ・同 行動計画

19 ・同 誕生記念イベント

20 ·同 生物多様性保全

21 ・同 良好な景観形成

22 ・同 サインの統一

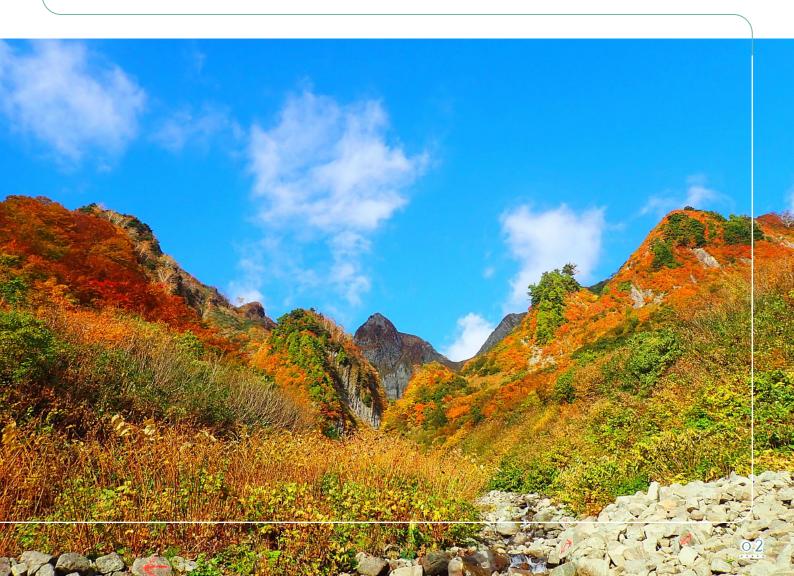
23 ・同 登山の活性化

4 ・同 多様なエコツアーの推進

25 ・同 ガイドの育成、情報発信

27 ・同 あまとみトレイルの設置

29 妙高戸隠連山国立公園の主な見どころ



Message 糸魚川市長挨拶



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が発足5周年を迎えましたことは、当市といたしましても大きな喜びであり、日ごろから当国立公園の保全・管理にご尽力いただいている関係者の皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

当糸魚川市は、平成21(2009)年に日本で初めてユネスコ世界ジオパークに認定されており、妙高戸隠連山国立公園には、日本百名山の雨飾山や火打山、活火山である焼山など、特徴的な山々がそびえ立ちます。また、山麓には豊かな自然が広がっており、砂防えん堤や温泉など、大地と人のつながりを感じることができる場所が数多くあることから、登山やトレッキングなどの観光はもちろ



条魚川市長 米田 徹

んのこと、教育や防災、地域振興など様々な活動がジオパークを通じて行われております。

現在、本協議会においても活発な意見交換が図られているところでありますが、これからも更なる国立公園全体の魅力アップに向けた取組を期待するところであります。

当市も、今後ともこの素晴らしい自然を次世代へつないでいくため、国や県、関係団体等と引き 続き連携・協働しながら、持続可能な取組を進めてまいりたいと考えております。

新潟県 糸魚川市 Itoigawa City









- A: 冠雪の新潟焼山 B: 明星山と高浪の池
- C:国石ヒスイ
- D:石の博物館 フォッサマグナミュージアム
- E:海の幸 ベニズワイガニ

糸魚川市は、新潟県の最西端に位置する、国内随一のヒスイ産地である「石のまち」です。平成21(2009)年に「糸魚川ジオパーク」が日本初の世界ジオパークに認定され、教育旅行など、大地を通じて文化・歴史を楽しく学ぶことができます。

新潟県最高峰である小蓮華山(2,766m)や日本百名山の一つである雨飾山を有しているほか、豊かな自然がもたらす海の幸が豊富で、ベニズワイガニやあんこうなどが名産となっています。

糸魚川市

·面積:746.24km

·人□:40,529人

・世帯数:17,216世帯 (令和4年1月1日現在) 新潟県 炒高市 信劃 一飯綱町 長野市 長野県

Message 妙高市長挨拶



「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」の発足から5年を迎えました。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染拡大が日本経済に大きな打撃を与え、予断を許さない状況ではありますが、コロナ禍で、これまで以上に健康と自然志向(アウトドア)のライフスタイルへの関心が高まって、特に「自然、環境、旅、健康、学び」に関する分野では、「歩く」のみから、「歩く旅」へと、人々の思考や行動が変容していくものと考えております。

そのような中、これまでの取組の完成形としてロングトレイル「あまとみトレイル」の開通を無事迎えることができ関係各位の皆様に、感謝申し上げます。



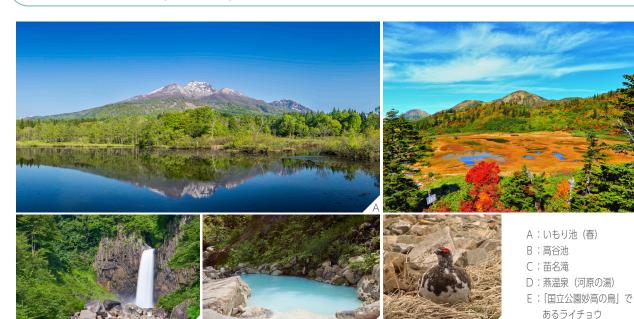
妙高市長入村 明

本来、自然環境の適正利用による観光活性化は目標の一つでもあるこ

とから、海外からの多くの人々を惹きつける重要なファクターに成りえるものであり、このロングトレイルの 開通は、新たな妙高市の魅力になるものと確信しており、インバウンド復活の起爆剤として多いに期待してい るところであります。

最後になりますが、このロングトレイルを通じて、この地域を訪れる旅行者、多くの地域の皆様との交流が 生まれ、新潟県と長野県をまたぐマウンテンフィールドの輪が大きく広がっていくことを願っております。

新潟県 妙高市 Myoko City



妙高市は、雄大で四季折々の自然景観の変化に富んだ 妙高戸隠連山国立公園に属し、日本百名山である妙高 山、火打山のほか、国立公園内外に広がる9つのスキー 場があり、妙高山麓一帯から湧き出る7つの温泉地を有 する妙高高原温泉郷は、他地域に誇れる地域資源です。 また、妙高山麓の豊富な雪どけ水は、良質な米や美味し い酒、山菜などの魅力ある食を生み出し、妙高市の観光 産業を支えています。

妙高市

·面積:445.63km

·人□:30,846人

・世帯数:12,374世帯 (令和3年12月31日現在) 新潟県 ※魚川市 『富山県 小谷村 『高脚』 ・飯郷町 ・長野県

Message 長野市長挨拶



妙高戸隠連山国立公園に指定されている戸隠・飯綱地区は、豊かな自然とともに、幾星霜を経た人々の営みが育んだ歴史と文化に彩られたエリアであり、市民に憩いの空間を提供するとともに、多くの観光客を魅了しています。

平成28(2016)年に協議会が設立されて以来、本市では、観光協会などとともに、戸隠森林植物園や飯綱高原大谷地湿原における外来植物の除去などの植生の保全活動や、定期的な自然観察会の実施による自然に親しむ機会の提供などにより、この地域の魅力の向上と発信に取り組んでまいりました。



長野市長 荻原 健司

また、今年度開通しました「あまとみトレイル」は「日本一の自然

と文化の遊学舎(まなびや)を目指すこと」を目的に進められてきた事業であり、妙高戸隠連山国立公園における魅力の核となることと期待をしております。

引き続き、関係の皆様と更なる連携を深めながら環境の保全・整備に努めることにより、当地区の優れた自然環境を自信を持って後世につないでまいります。

長野県 長野市 Nagano City











- A: 長野市のシンボルである国宝「善光寺」
- B:戸隠神社奥社参道に続く樹齢約400年の杉並木
- C:飯綱高原にある飯縄山と大座法師池
- D: 桜の名所としても知られる松代城跡
- E:善光寺表参道のイルミネーション

長野市は、長野県の北部に位置し、千曲川や犀川が流れ、 戸隠連峰などの山並みに抱かれた長野盆地にあります。

国宝である善光寺本堂を始め、武田信玄と上杉謙信が幾度も戦った川中島古戦場、真田十万石の城下町である松代や、日本三大そばの名産地であり、戸隠神社奥社参道の杉並木が有名な戸隠など、豊かな歴史・文化と自然に彩られたまちです。

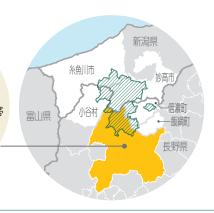
また、平成10(1998)年の長野オリンピック・パラリンピックの開催都市として世界的にも知られています。

·面積:834.81km

·人口:371,749人

・世帯数:163,361世帯 (令和3年12月1日現在)

長野市





Message 信濃町長挨拶



信濃町の属する妙高戸隠連山国立公園は、平成27(2015)年3月 に上信越高原国立公園から分離独立して誕生しました。国立公園 信濃町地域にはナウマンゾウ発掘の地としての野尻湖、また別名

「信濃富士」とも称される黒姫山を有するなど、四季を通じて多く の方に親しまれて参りました。

平成28(2016)年7月の妙高戸隠連山国立公園連絡協議会設立 以降、構成自治体の皆様と共に連絡協議会に参画して参りました。 国立公園における様々な活動の一つとして、町内を経由するロン グトレイル区間は、古代山岳信仰の山々を結び歴史や文化に触れ る区間、また野尻湖を森の木々の間から眺めながら進む区間など、 山と水辺を織り交ぜた変化に富むルートとなっています。



信濃町長 横川 正知

今後は、脱炭素・SDGsにも対応し、国立公園の魅力を高める活動を持続可能な形で利活用を 図って参ります。また、国や県、連絡協議会の皆様と連携を深めながら次世代へとつなぐよう関 係団体、地域住民の皆様と共に取り組んで参りたいと考えております。

長野県 信濃町 Shinano Town

信濃町は、長野県の北端に位置し北に妙高山を背にして、西に黒姫山、南に飯綱山・戸隠山、東に斑尾山と北信五岳に囲まれ、妙高戸隠連山国立公園の一環として風光明媚な高原盆地帯にあります。

花静かなる田園の広がる自然を始め、お米やそば、トウモロコシ、トマトなど大変おいしい農産物に恵まれています。

ナウマンゾウなどで知られる野尻湖湖底発掘や俳人小林一茶の生誕、終焉の地であり、信州の児童文学やドイツの文学者ミヒャエル・エンデの資料を展示した黒姫童話館、四百年以上の歴史をもつ信州打刃物の里、北国街道の交通の要所でもあり歴史と文化が息づく町です。

A:夏の野尻湖 D:コスモス

B:黒姫山とナウマンゾウ E:伝統工芸品信州打刃物

C:野尻湖花火大会

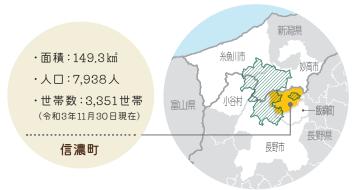












Message 飯綱町長挨拶



妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が平成28(2016)年の発足から5年を迎え、これまでの取組の歩みを振り返る「妙高戸隠連山国立公園協議会5年間の歩み」を冊子としてまとめるにあたり、構成する2県6市町村の一員として関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれてきた自然と文化があります。これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかけることでより良い国立公園として後世につないでいかなければなりません。

登山やスキー・サイクリング等、自然を利用した遊びの場として、 また四季折々の日本らしい風景、おいしい農産物と郷土食など心身

を癒す保健休養の場として、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、これからも国や県、関係市町村との連携を深めながら、関係団体、地域住民の皆様方とともにきめ細やかな国立公園づくりに取り組んでまいりたいと考えます。



長野県 飯綱町 Iizuna Town





A:水田と飯綱山

B:飯綱東高原(霊仙寺湖)

C:丹霞郷 (桃の花)

D:高坂林檎(和りんご) E:水芭蕉(むれ水芭蕉園)





飯綱町は長野県の北部に位置し、飯縄山から斑尾山までの穏やかな丘陵地にあります。豊かな自然と清らかな水を活かした農業が基幹産業で、特に全国 | %のりんご生産量を誇る一大生産地として、良質で多品種のりんごを生産しています。

また、飯綱東高原の日帰り温泉を中心に、スキー場、キャンプ場など年間を通じて多くの観光客が訪れます。

・面積:75,00km。 ・人口:10,713人 ・世帯数:4,220世帯 (令和3年12月31日現在)

Message 小谷村長挨拶



小谷村は長野県の最西北端に位置し、東山山地が妙高戸隠連山国 立公園に指定されています。小谷温泉、雨飾山、鎌池など雨飾高原 は小谷村を代表する景勝地で、まさにこの国立公園のビジョンと なっている言葉の通り、春夏秋冬鮮やかな色を楽しむことができ る場所であります。

また、隣接する糸魚川市から、先人の歩いた塩の道が整備されて おりますし、妙高市へは林道が冬期を除く限定期間でつながって おり、協議会の一員としてこの国立公園内での絆を深めていきた いところであります。

当村では、雨飾山において携帯トイレの普及を進めており、ロン グトレイルも視野に入れておりますが、世界に誇れる観光地とな

るためには、まだまだ課題が多くあろうかと感じております。この協議会による今後の行動計画 を通じた活動がさらに広く深化し、妙高戸隠連山国立公園のファンが一人でも多く増え「日本一 の遊学舎」となりうることを祈願し、5年間の歩みに対しまして感謝と敬意の言葉といたします。



小谷村長 中村 義明

長野県 小谷村 Otari Village













A:日本百名山の1つ「雨飾山」

B:鎌池とブナ林

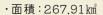
C:雨飾山女神の横顔と妙高戸隠連山

D:国登録有形文化財「山田旅館」

E:秘湯「小谷温泉」

長野県小谷村は「緑と雪と温泉 のふるさと」をキャッチコピーと している、人口2,704人(令和3 (2021)年8月31日現在)の小さ な村です。

村の一部が2つの国立公園に指 定されており、その中でも妙高戸 隠連山国立公園内には、日本百名 山の一つ雨飾山、ブナ林が並ぶ鎌 池、秘湯小谷温泉、国登録有形文化 財に登録されている山田旅館等た くさんのスポットがあります。そ こから生まれた数々の伝統は地域 の方々により大切に守り続けられ てきています。



·人口:2,704人 (令和3年8月31日現在)

・世帯数:1.204世帯 (令和3年6月30日現在)

小谷村



Message 土屋 俊幸 連絡協議会構成員 挨拶



東京農工大学 名誉教授 十屋 俊幸

私と妙高戸隠連山国立公園とのお付き合いは、個人的には高校時代の1970年に始まります。林間学校で当時の妙高村大字関山にあった寮に泊まり、妙高山登山や笹ヶ峰でのハイキングなどを楽しみました。翌年冬には初スキーも体験しました。私にとってこの地域は、その後の人生における自然との付き合い方を方向づけるとても大事な場所だったのです。

私と妙高戸隠連山国立公園との公的なお付き合いの始まりは、2015年3月18日に開かれた第1回妙高戸隠地域協働型管理体制検討会でした。この会合に専門家として呼ばれ、「国立公園の協働型管理と地域振興」という題名でお話ししました。

Message 海津ゆりえ 連絡協議会構成員 挨拶



文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ

本協議会の委員就任の相談を受けた時、最初にしたのは地図帳を開くことでした。トレイル歩きはするものの登山をしてこなかったため、山の名を聞いても風景が浮かばなかったのです。その後「一目五山」を見歩いたり、善光寺から戸隠神社まで歩いたりするうちに、この地の自然と人が織りなしてきた文化や歴史の深さを知り、驚き続けました。今はこの協議会の一員であることを誇りに思っています。

本協議会は、環境省が新しい国立公園の管理のあり方として打ち出した「協働型管理運営」を実現するための「総合型協議会」の早期事例です。国立公園に関する全ての計画事項を話し合うため、総会、幹事会、部会と会議体は多く、出席者も桁違いに大勢です。形骸化しやしないかと不安でしたが、メンバーのふとした発言に、誇りや気概を感じることも多くあります。

当初は国立公園全域でエコツーリズム推進法の認定を取得することを夢見いてましたが、制度上、6市町村それぞれが推進協議会を結成する必要があることから先送りとし、フォトコンテストの実施やロングトレイルの開設など、活用の形が目に見える事業に舵を切りました。潔い方向転換は正解だったと考えています。現在は「あまとみトレイル」と名付けたロングトレイルの全線開通に向けて産みの苦しみの最中にあります。これまでは構想と設計の段階でしたが、いよいよ管理運営計画と運用に踏み切ります。協働の真価が問われるのはこれからです。

大所帯を一つにまとめるには3つのことが必須と考えています。食べること、語ること、訪れること。要は相互に知り、理解することからです。共に、協議会場が地域自慢の展覧会場になったらすごいことになるでしょう。コロナ明けにはそんな提案もしてみたいと考えています。



つまり新国立公園の分離·独立の直前からのお付き合いになります。この検討会は連絡協議会の体制を検討するために作られたものなので、連絡協議会にはその誕生から関わったことになります。

連絡協議会では、有識者の構成員として、総会、幹事会、各部会に参加させていただき、また妙高山・火打山の入域料収受制度立ち上げ、妙高連峰登山道の保全整備・維持管理体制の検討にも加わらせていただいています。しかし、では何かこの国立公園に貢献できたかというと、??が付きます。開き直って言えば、私のような地域に居住しない研究者の役割は、なるべく長く関わり続けること、そして行政と地域のみなさんが繋がることをお手伝いすることだと思っています。

妙高戸隠連山国立公園の試みは、全国に誇れるものです。これからも末永く続けていきましょう。

Message 奥敬一 連絡協議会構成員 挨拶



富山大学 学術研究部 芸術文化学系 教授 奥 敬一

協議会の発足から5年余の間、自然公園の地域協働型管理という まだそれほど前例の多くない取組に、関係各位が積極的に参画され 尽力されてきたことに、あらためて敬意を表します。

私自身は協議会設立以降からの参加ということで、設立準備段階からの関係者の熱意を肌で感じてきたわけではありませんが、現地視察に始まり、幹事会、各部会での真摯な議論に引っ張られるような形で、ここまで参加を続けてきたように思います。

私の専門分野に関して言えば、行動計画の重点項目「良好な景観 形成」の中に、10年後に目指す姿として「当公園らしい景観が保全 活用され、景観でメシが食えている状態」と書き込んだことは、非 常に野心的な目標でした。その目標へ向けてひとつの助走として取 り組んだのが「『一目五山』の絶景32選発掘フォトコンテスト」(平 成29(2017)年度事業)です。

コンテストの審査委員長として32選を紹介するパンフレットに寄せた総評には「この32選を見て、もっといいところがある、こちらも負けてないぞ、とあちこちから優れた風景が名乗りをあげて、風景自慢を繰り広げてほしいのです。そして、その風景の中でなりわいを続けている人たちは、この風景を作っているのは自分たちだということもどんどん誇ってほしいのです。それが妙高戸隠連山国立公園を訪れる人たちへの最高のもてなしにつながるのだと思います」と記しました。

新型コロナウィルスの影響で助走からの踏み切りには水を差されてしまいましたが、なりわいを 続けることですぐれた風景が作られ、その風景がなりわいに付加価値をもたらすという好循環をこ の国立公園で展開していけるように、微力ながら今後も協議会活動をサポートしていきたいと思い ます。

● 日本で32番目に誕生した国立公園

国立公園は、日本を代表するすばらしい自然の風景がある場所で、妙高戸隠連山国立公園は平成27(2015)年3月27日に誕生した、日本で32番目の新しい国立公園です。以前は「上信越高原国立公園」の一部でした。

National Parks of Japan

●山岳信仰息づく一目五山の風景

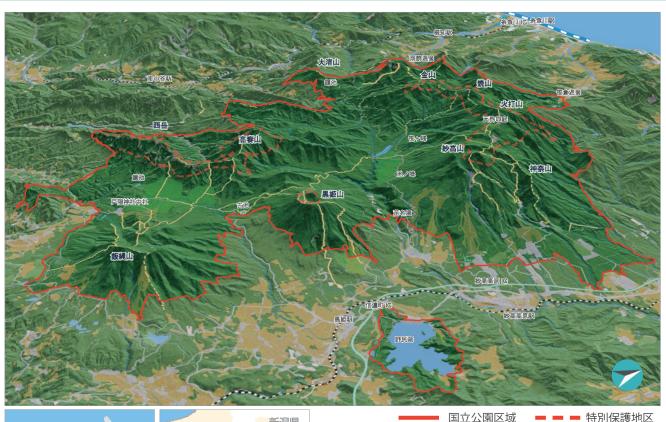
個性的な形の火山と非火山の山々が狭い範囲に混在し、山麓には高原や湖沼が点在する風景が、日本を代表する風景のひとつであると評価され、分離独立しました。狭い範囲に火山・非火山が集まってかたちづくる様子は「一目五山」と呼ばれ、独特の風景独特の風景を生み、山深い豪雪地帯での暮らしは、山岳信仰や暮らしの知恵を育みました。緑いっぱいの高原や輝く湖沼、四季折々の美しい田園と共に眺める「山岳信仰息づく一目五山の風景」、この風景こそが、妙高戸隠連山国立公園の自慢の風景です。

国立公園とは?

国立公園は、「日本を代表する素晴らしい自然の風景がある場所」です。 全国で34か所あり、日本の国土の 約5.8%(令和2(2020)年度現在) を占めています。

日本の国立公園は、多くの民有地を含んで指定されています。大自然のみならず、人々の暮らしや伝統、文化にもふれられることが大きな特徴です。

次の世代も同じ感動を味わい楽しむことができるように、優れた自然を守り、後世に伝えていくべきところであり、そのために、保護し管理していく必要があります。







〔妙高戸隠連山国立公園の基本情報〕

·公園面積:39,772ha ·関係市町村:3市2町1村

新潟県:糸魚川市,妙高市

長野県:長野市、小谷村、信濃町、飯綱町



● 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会について

国立公園は、自然の保護・保全が前提にありますが、国立公園の自然を活かし、利用者のニーズを踏まえて適切に利用をすることで、さらに保護・保全を進める仕組みづくりをすることが大切です。

国だけでなく、地域の関係者と国立公園の目指すべき目標(ビジョン)を共有して、連携を図りながら、保護・保全と適切な利用を進める協働型管理運営のため、「妙高戸隠連山国立公園連絡協議会」を平成28(2016)年に設立しました。

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会では、主に次にあげる4つの事業に取り組んでいます。

- 1 ビジョン、管理運営方針及び行動計画に関する事項
- 2 自然環境の保護と利用に関する情報の共有化
- 3 広域的に取組むべき課題の検討及び解決
- 4 その他、本会の目的を達成するために必要な事項

協議会では、国立公園のビジョン、管理運営 方針、行動計画、地域のルールなどについて、 関係者が検討し、取組を進めています。

●構成員●

有識者、エコツーリズム関係者、地域振興関係者、博物館関係者、山岳関係者、観光協会・DMO 市町村、県、林野庁、環境省 ほか (詳しくは 15 ページ参照)



「一目五山」とは?





当国立公園内には、個性的な形の山が多く、 「一目」ですぐにわかる山がたくさんあります。「五」は「たくさん」の意味。

「五山」は決まった山ではなく、2 つ以上の山が一目で見えていればそれが「一目五山」の風景です。

平成27(2015)年の国立公園誕生を記念して作った造語であり、この美しい風景を、多くの皆様に知っていただきたいと考えています。

●協議会の主な取組

多高户區達山區立公園 Motion Trainant Inform Perk

◆ 妙高戸隠連山国立公園が誕生

●平成27(2015)年3月27日に日本で32番目の 国立公園として、妙高戸隠連山国立公園が誕生 しました。

砂高戸隠連山国立公園 連絡協議会を設立

- ・妙高戸隠連山国立公園連絡協議会を設立 協議会規約、国立公園のビジョンと管理運営方針を承認
- ●妙高戸隠連山国立公園総合ガイドブックをリリース
- ロングトレイルのメインルートの検討開始
- ●「一目五山の絶景32選及び審査員特別賞3点」 を選定!
- 火打やまナビの運用スタート
- 近自然工法登山道整備講習会を実施
- ローカル版オフィシャルパートナーシップ の検討開始

- 管理運営計画(許認可等取扱方針)の承認
- ●国立公園内のサイン統一デザイン基準(誘導標識、アイキャッチ、ピクトグラム)の検討開始
- ●ロングトレイルのメインルートの検討開始
- ●「妙高戸隠連山国立公園『一目五山』の絶景32選発掘 フォトコンテスト」開催

「一目五山の絶景32選及び審査員特別賞3点」を選定!

- •火打やまナビの運用スタート
- ●近自然工法登山道整備講習会を実施
- ●ローカル版オフィシャルパートナーシップの検討開始
- ●エコツアー先進地(日本一の星空:長野県阿智村)を視察

(年度)

平成26 (2014)

平成27

(2015)

平成28

(2016)



◆ 妙高戸隠連山国立公園運営体制検討会議を開催

◆妙高戸隠連山国立公園指定記念シンポジウムなどの記念イベントを実施

協議会設立に向けて、妙高戸隠連山国立公園運営 体制検討会議を開催

ビジョン、管理運営方針の検討の開始、地域ごとの 意見交換会(妙高地域、野尻湖・黒姫地域、糸魚川・ 小谷村地域、戸隠・飯綱高原地域)も開催

- ・妙高戸隠連山国立公園指定記念シンポジウムなどの記念イベントを実施
- ●妙高戸隠連山国立公園山登りマップを発行



平成29 (2017)

- ●「妙高戸隠連山国立公園 森遊び! 2Daysフェア」を実施
- ●「良好な景観づくりに関する勉強会 in赤倉温泉」を開催

平成30 (2018)



- 協議会のホームページ、facebookを開設
- ●「妙高戸隠連山国立公園 森遊び! 2Daysフェア」を 実施、延べ1,400名が来場!
- ●「良好な景観づくりに関する勉強会in赤倉温泉」を 開催、地元の25名が参加!
- •「良好な景観づくりの手引き」を発行
- ●「一目五山の絶景32選の写真展」を5か所で開催、 以降継続開催中
- ●ジオパークガイド向け勉強会(糸魚川世界ジオパーク)を開催
- ●ロングトレイルの安全な利用のためのサイン配置基本計画を策定





妙高戸隠連山国立公園 森遊び!2 Days

(年度)

● サイン統一デザイン基準(案)を確定、 携帯トイレ関連ピクトグラムを日本で 初めて作成!

令和元年 (2019)



携帯トイレブース



携帯トイレ回収ボックス

- ●サイン統一デザイン基準(案)を確定、携帯トイレ 関連ピクトグラムを日本で初めて作成!
- ●ロングトレイル、長野駅〜笹ヶ峰〜野尻湖〜斑尾山山頂区間のルート、笹ヶ峰〜小谷温泉〜〜塩の道〜糸魚川区間の継続検討を決定
- ●「妙高戸隠連山国立公園 森遊び! 2 Days」を実施
- ●環境省ホームページ「国立公園へ出かけよう!」に おすすめコースを新たに5つ追加
- ◆糸魚川地区でのエコツアーのモデルツアーを実施、マニュアルも作成・公開
- 子どもパークレンジャー事業による発表会を実施



子どもパークレンジャ・

- ●令和3(2021)年度にロングトレイルの一部 開通を目指し、名称とシンボルマークを早期 に決定することを決定
- 火打山・妙高山地域で地域資源法に基づいた 入域料の導入
- 妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル 等意見交換会の開催
 - ●妙高市が希少野生動植物保護条例を制定
 - ●令和3(2021)年度にロングトレイルの一部開通を 目指し、名称とシンボルマークを早期に決定するこ とを決定
 - ●妙高戸隠連山国立公園指定5周年記念イベント「森遊びSNS写真投稿キャンペーン」を実施、1,000件を超える投稿の中から入賞作品20件を選出
 - 火打山・妙高山地域で地域資源法に基づいた入域料の導入
 - ●妙高高原ビジターセンターの建て替えが始まる
- ・妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見 交換会の開催、以降継続開催

令≉□2 (2020)



●協議会連携、各構成員主導の さまざまな取組も継続中!



ライチョウの保全のための植生調査

- ●火打山におけるライチョウの保全 (生息環境改善、モニタリング、市民参加型調査、地元小学生対象の教育、など)
- •ニホンジカ等の鳥獣被害対策、状況把握調査、など
- ●いもり池、笹ヶ峰高原、大谷地湿原等で外来種対策
- ●戸隠地域でエコツアー勉強会、糸魚川地域でジオガイドの勉強会、など
- ●携帯トイレの普及啓発。小谷地域での携帯トイレ関連取組の活発化、地 元小売店で、戸隠オリジナルデザインの携帯トイレも販売
- 火打やまナビの運用(令和3(2021)年1月20日時点のダウンロード数:841人)
- ■国立公園のフェイスブックの積極運用

●協議会の体制

総会 (承認)

【所掌事項】活動計画及び予算決済の承認、国立公園や自然・観光に関する意見交換等 【構 成 員 】市町村長レベル、団体事務局長レベル

幹事会 (実質的な意思決定)

【所掌事項】活動計画の検討、部会所掌事項以外の検討(管理運営計画等)、予算決算 及び事業計画以外で会長が認めた事項に係る承認

【構 成 員 】市町村課長レベル、団体事務局長レベル

部会(具体的な作業を担当)

歩く利用部会

【所掌事項】

ロングトレイル設置に係る事項、登山 の活性化に係る事項、エコツアーの活 性化に係る事項

【構成員】

観光協会・DMO、民間構成員(山岳 関係者、地域振興関係者)、行政(環 境関連課・観光関連課のうち、主に関 係する課を各自治体で選定) 協議会メンバー以外の関係者も含む

情報発信部会

【所掌事項】

情報発信に係る事項

【構成員】

民間構成員:エコツーリズム関係者、 博物館関係者、観光協会・DMO、環 境関連課・観光関連課のうち、主に関 係する課を各自治体で選定

●総会構成員(2022年3月時点)

■市町村

- ・糸魚川市長
- ・妙高市長
- ・長野市長
- ・信濃町長
- ・飯綱町長
- ・小谷村長

■県

- ·新潟県県民生活·環境部長
- ・長野県環境部長

■林野庁

- ・上越森林管理署長
- ・北信森林管理署長
- ・中信森林管理署長

■環境省

- ・信越自然環境事務所長
- ■エコツーリズム 関係者
 - ・NPO 法人 GOZAN 自然学校 代表
- ■地域振興 関係者
- ・小谷温泉旅館組合 代表

■博物館関係者

- ■山岳関係者
- ・元高谷池ヒュッテ 管理人
- ・戸隠登山ガイド 組合 代表
- ■観光協会・DMO
- ・一般社団法人 糸魚川 市観光協会長
- ・一般社団法人 妙高ツーリズムマネジメント会長

・糸魚川フォッサマグナミュージアム 館長

・野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長

- ・一般社団法人 戸隠観光協会長
- ・一般社団法人 飯綱高原観光協会長
- ・一般社団法人 信州しなの町観光協会代表理事
- ・一般社団法人飯綱町観光協会長
- ・一般社団法人 小谷村観光連盟
- ■各部会長
- ・歩く利用部会部会長

■有識者

- ·東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸
- ・文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ
- ·富山大学 学術研究部 芸術文化学系 教授 奥 敬一

● これまでの会議実施日等

平成27 (2015)

妙高戸隠連山国立公園管理運営体制検討会議

• 9/29 第1回検討会 環境省長野自然環境事務所(長野市)

11/24 第2回検討会 同上 . 3/18 第3回検討会 同上

地域ごとの意見交換会(ビジョン案や管理運営方針案に反映)

· 12/10 妙高地域(10名) 妙高高原メッセ(妙高市) 野尻湖・黒姫地域(16名) · 12/15 信濃町総合会館(信濃町) · 1/21 糸魚川·小谷地域(14名) 糸魚川市民会館(糸魚川市) • **| /25 戸隠・飯綱高原地域(13名)** アゼリア飯綱(長野市)

平成28 (2016)

. 7/19 設立総会 ホテルメルパルク長野(長野市) 10/31 第1回幹事会 アゼリア飯綱(長野市) · 12/20 第1回情報発信部会 長野自然環境事務所(長野市) · 1/13 第2回幹事会 妙高高原メッセ(妙高市) . 2/8 第2回情報発信部会 長野自然環境事務所(長野市) . 3/2 第3回幹事会 中部森林管理局大会議室(長野市)

. 3/16 第2回総会 赤倉観光ホテル(妙高市)

平成29 (2017)

第1回歩く利用部会 · 8/31 長野自然環境事務所(長野市) . 9/11 第1回幹事会 飯綱福祉センター(飯綱町) · 11/20 第2回歩く利用部会 長野自然環境事務所(長野市) 同上

· 12/22 第1回情報発信部会 . 1/19 第3回歩く利用部会 同上 第1回エコツーリズム部会 同上

· 2/13 第2回幹事会 糸魚川市民会館(糸魚川市) · 3 /22 総会 長野市芸術館(長野市)



· II/30 野尻湖·黒姫地域(I0名) 信濃町総合会館(信濃町) 飯綱高原地域(11名) · 12/7 アゼリア飯綱(長野市) · 12/12 妙高地域(22名) 妙高高原保険センター(妙高市)

· 2/26 戸隠地域(6名) 中社公会堂(長野市)

· 6 /26 第1回幹事会 . 9/14 第1回歩く利用部会 信越自然環境事務所(長野市)

1/25 第2回歩く利用部会 第1回情報発信部会

· 2/18 第2回幹事会

· 3/5-総会 3/15

· 3 /28 結果報告 雨飾荘(小谷村)

同上 同上

一茶記念館(信濃町) 書面開催

書面開催

令和元年 (2019)

平成30

(2018)

· 10/ 1 第1回歩く利用部会 信越自然環境事務所(長野市) · 12/3 第1回情報発信部会 同上 · 1 /30 第2回歩く利用部会 同上 第2回情報発信部会

. 2/14 幹事会 . 3/9-総会

3/16 · 3 /28 結果報告

同上

飯綱町民会館(飯綱町)

書面開催

令和2 (2020)

第1回歩く利用部会 · 10/20 一茶記念館(信濃町) 第1回情報発信部会

第2回歩く利用部会 · 12/15 戸隠農村環境改善センター2階ホール(長野市) 第2回情報発信部会

· 1 /25 幹事会 . 2/18 総会

同上

同上 WEB開催 同上















● だジョン/

協議会では、妙高戸隠連山国立公園に関わる方々の共通する目標として、「妙高戸隠連山国立公園のビジョン」を検討し、決定しました。

協議会 HP QR コード

[基本理念] 温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれ、大事にされてきた自然と文化があります。これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかける「温故知新」の精神により、より良い国立公園として後世につないでいきます。

また、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、新たな国立公園となった今、地域皆が協力してきめ細かな国立公園づくりを行うことで、そこに暮らす・暮らしていた人々は「住んでよかった・この地に帰りたい」、訪れる人々は「行ってみたい、行って良かった」と思えるような、日本一愛される国立公園を目指します。

魅力 「山岳信仰と人々の暮らし息づく、一目五山 の風景」です。

役割 「色鮮やかな自然があり続けることと、日本 ーの"自然×文化"の遊学舎(まなびや)であ ること」です。

保全・利用目標

「先人が築き守ってきた自然と文化を、私たちが自信をもって子供たちに引き継ぐこと」です。

● 管理運営方針

ビジョンを実現するため、地域皆で取り組むべきことの方向性を共有して、同じ 方向を向き、役割分担しながら進めていくために、「妙高戸隠連山国立公園管理運営 方針」を協議会で検討し、九つの取り組むべき施策の方向性を決定しました。

協議会 HP QR コード

北限のライチョウをはじめ、 豊かな生物多様性保全の 取組をすすめます 妙高戸隠連山国立公園 らしい風致景観保全の 取組をすすめます

登山を活性化させる 取組をすすめます

自然や文化で遊び・学ぶ体 験活動を活性化させる取組 をすすめます 癒しの場となるような 取組をすすめます 「世界に誇れる観光地」 となるよう、観光地と しての資質を高める取 組をすすめます

地域ぐるみで積極的に情報 発信し、「妙高戸隠連山国立 公園ファン」を増やす取組 をすすめます 「故郷、妙高戸隠連山国 立公園」となるような 取組をすすめます

<mark>協働による取組をすす</mark> めます



●行動計画

協議会では、妙高戸隠連山国立公園に関わる方々の共通する目標として、「妙高戸隠連山国立公園のビジョン」を検討し、決定しました。行動計画は定期的に見直し、改定していく予定です。

協議会 HP QR コード

重点事項	現状の主な課題	短中期の主な目標 (達成年度の目安)	10 年後に目指す状態
生物多様性の保全	・地域一体となった生物多様性 保全活動の不足・科学的知見の蓄積や共有不足	・当公園の生物多様性地域 戦略の策定(案) (5年後程度)	市民・研究者・行政が一体 となって保全活動を実施し、 生物多様性がエコツーリズ ムに活用されている状態
良好な景観形成	・問題意識と価値付けの不足 ・公園計画や管理計画が景観保 全に貢献不足	・特に設けない	当公園らしい景観が保全活 用され、景観でメシが食え ている状態
歩く利用の活性化 ・ロングトレイルの 設置	・長距離自然歩道を含め、歩く 利用の不足 ・協働体制の末構築	・ロングトレイルの開通 (3年後程度)	ロングトレイルを多くの利 用者が利用し地域活性と郷 土愛の醸成に貢献している 状態
・サインの統一	・デザインや表記の不統一 ・設置箇所の過不足	・サインの統一基準の策定 (年後程度)	分かりやすく当国立公園ら しいデザインのサインが、 適所に設置されている状態
・登山の活性化	・管理不足及び整備水準に悩む 登山道の存在 ・登山による地域活性化の不足	·登山道管理指針の策定 (5年後程度)	国内外の登山者が安全に登 山をすることができ、地域 活性化に貢献する状態
エコツアーの活性化 ・多様なエコツアー プログラム作り ・質の高いガイドの 体制作り	・各ツアープログラムやガイド の、地域間の連携不足、質のば らつきや量の不足 ・広報の限界	・多様なエコツアープログ ラムと質の高いガイドー 体となったツアーの一元 的発信 (5年後程度)	多様で質の高いエコツアー プログラムが、複業を含む 多くの質の高いガイドに よって実施され、公園全体 の着地型旅行商品として販 売されている状態
情報発信の強化	・当公園の名前や魅力が、1 つの観光圏として発信されていない	・オフィシャルパートナー制度を活用した集中PR (2年後(平成30年度)) ・指定5周年記念イベント (3年後(平成31年度))	一つの観光圏として、エコツアーを中心とした長期滞在や周遊利用がなされている状態
	-	十 + αの必要な取組	
エコツーリズム 推進全体構想の 認定地域へ	_	・エコツーリズム推進全体 構想の申請 (5年後程度)	当国立公園が、「日本一の遊 学舎」となっている状態

● 生物多様性保全

妙高戸隠連山国立公園の誕生を記念して、平成27(2015)年度に協議会構成 員による様々なイベントを実施しました。



妙高戸隠連山国立公園 指定記念シンポジウム

妙高戸隠連山国立公園の誕生 を記念して妙高市が開催。





妙高戸隠連山国立公園 指定記念 夏休み自由 研究イベント

当国立公園に関係する 4つの博物館(糸魚川 フォッサマグナミュー ジアム、妙高高原ビジ ターセンター、戸隠地 質化石博物館、野尻湖 ナウマンゾウ博物館) の協力のもと、自由研 究のヒントになる野外 体験イベントを実施。

新宿御苑みどりフェスタ

みどりの月間にちなんだ自然に親しむ 行事にて新しく設立された当国立公園 を紹介





妙高戸隠連山国立公園 誕生記念大スタンプラリー in Autumn

公園の誕生を記念して国立公園 内と周辺の6市町村をめぐるス タンプラリーを開催。たくさん の参加がありました。

シンボルマーク

妙高戸隠連山国立公園の誕生を記念しシンボルマークを制定しました。 シンボルマークのデザインを公募し、応募総数264点の中から、シンボルマーク が決定しました。シンボルマークは国立公園の各所の看板やサイン、印刷物や webサイト等、広く使われています。





Myoko-Togakushi renzan National Park

優秀賞 (2名)



妙高戸隠連山国立公園

MYOKO-TOGAKUSHI RENZAN

審查員特別賞 (5名)











生物多様性保全

妙高戸隠連山国立公園は、成り立ちの異なる山々の雄大な山岳景観や、多様性 に富む動植物など、大自然を満喫できる自然豊かな場所です。

協議会では、これらの生物多様性豊かで貴重な自然を守る活動を進めています。

ライチョウ保全



ライチョウは高山帯に生息 する日本固有の鳥であり、国 の天然記念物です。

火打山は日本最北限の生息 地で、日本で最も古いライ チョウのルーツと考えられて いる貴重な個体群が生息して います。

火打山は、ライチョウの 日本北限の生息地です。で すが、近年の調査でライ チョウの生息環境が悪化 していることが分かりま

協議会では、構成員や有 識者、研究機関、市民と協 カしながらライチョウの 生息環境の調査や、生息環 境の保全を進めています。



調査や駆除作業は、標高 2000m を超える高山帯で実施されています。





火打山におけるライチョウ保全のため、 イネ科植物の除去試験を進めています。 実験の結果、イネ科植物を刈り取ると 餌となるコケモモが増えることが分か

外来種の駆除

繁殖力の強い外来種が増えてしまうと、国立公園内の長い時間をかけて作られてきた 希少な生態系のバランスを崩してしまう恐れがあります。希少で豊かな国立公園の生態 系を守り、後世に伝えていくために、協議会ではオオハンゴンソウやキショウブ、外来ス イレン等の駆除作業に取り組んでいます。



いもり池周辺環境保全 (外来種駆除) ジョレンによる外来ス イレンの除去



外来スイレンを防除 する防草シートの設 置作業



飯綱高原大谷地湿原での 湿原植生の保全 (外来植物(キショウブ) の除去)



周辺等でのオオハンゴ ンソウの防除

●良好な景観形成

国立公園は、日本を代表する優れた自然の風景地です。この優れた景観を守り、 さらに磨いていくため、協議会では、ルール・計画づくり、資源発掘や勉強会等、 様々な取組を進めています。

一目五山の絶景 32 選の発掘



大賞

「収穫」 信濃町

平成29(2017)年秋、妙高戸隠連山国立公園のお気に入りの山の風景と農村や湖沼などの風景がセットになった「一目五山」の絶景スポットを募集しました。そして、32番目に誕生した国立公園を記念し、一般公募及び協議会構成員推薦の写真の中から、32選を選定しました。選ばれた写真は、「一目五山の絶景32選写真展」として、国立公園周辺各地で展示会を実施しています。

地域の風景を楽しみ、誇れる絶景を増やすことが、妙高 戸隠連山国立公園を訪れる方への最高のおもてなしにもつ ながります。

\ 写真展も開催! /



*詳しい情報は、パンフレットや協議 会のwebサイトで確認できます。



パンフレット QR コード

ホームページ

協議会

パンフレット

良好な景観づくり勉強会

次点

「晩秋」

妙高市

平成30(2018)年、赤倉温泉において良好な街並み景観づくりによって集客力を上げるメカニズム、取組のポイント等についての講演会、フィールドワーク(まち歩き)、ワークショップを通じてその具体的な方法を学び、考え



講演会・ワークショップ (赤倉ホテル)



まち歩き

良好な景観づくり勉強会in赤倉温泉

景観づくり地域意見交換会

る勉強会を開催しました。

景観づくりの地域ルールである管理運営計画書の許認可等取扱方針について、平成29(2017)年に野尻湖・黒姫地域、飯綱高原地域、妙高地域、戸隠地域で景観づくりに関する意見交換会を行いました。基準の変更、景観への配慮が望まれる事項等に関する意見交換が行われ、管理運営計画づくりに活用されました。



野尻湖・黒姫地域 (信濃町総合会館)



妙高地域(妙高高原保険センター)



飯綱高原地域(アゼリア飯綱)



戸隠地域 (中社公会堂)

● サインの統一

サイン統一 デザイン基準の作成 国立公園は、日本を代表する優れた自然の風景地です。この優れた景観を損 なわず、かつ多くの人に認知されるよう、妙高戸隠連山国立公園内の標識類 (サイン類) について標準デザイン、当国立公園で使用するピクトグラム、地 名等の英語表記リストについて定めました。

誘導標識(案内板)の デザインの統一

歩道(登山道や散策路等)を対象に、目的地へ誘導する誘導標式を対象に、 構造や素材、アイキャッチカラー、使用言語、フォント、ナンバリングについ て、協議会で検討し、統一したデザイン基準を作成しました。





アイキャッチ カラー

アイキャッチカラーは国立公園内の歩道等に 設置する誘導標式に共通して入れる色です。 地域性を活かした色、視認性の高い色を協議 会で検討し、決定しました。

当国立公園で使用する ピクトグラムを選定、作成

外国人利用者や様々な年代の方にも分かりやすい案内ができるよう、当国 立公園で使用するピクトグラムを選定しました。中でも、協議会独自の取組と して、全国で初めてとなる携帯トイレに関するピクトグラムを作成しました。



携帯トイレブース



ピクトグラム



携帯トイレ回収ボックス



ピクトグラム

携帯トイレ

妙高戸隠連山国立公園では、高山帯の自然環境を守るため携帯トイレの普及活動を進めています。 携帯トイレを使う場所となる「携帯トイレブース」と、使用後の携帯トイレを捨てる場所となる「携帯トイレ回収 ボックス」について、デザイナーや外国人の意見も取り入れながら検討し、設定しました。

英語表記の統一

国立公園内の各施設で多言語対応が進められていますが、 全体的な統一感を持って進められるよう、英語表記について 協議会で検討しました。

雨飾山(あまかざりやま) → Mt. Amakazari 例 焼山(やけやま)

→ Mt. Yakeyama

→ Mt. Hiuchi 火打山(ひうちやま)



*妙高戸隠連山国立 公園サイン統一デ ザイン基準はこち らで確認できます。

●登山の活性化

携帯トイレの普及啓発

近年、使用済みのトイレットペーパーや汚物が 山に捨てられてしまうことが大きな問題になって います。特にトイレが設置されていない登山道で は、携帯トイレの普及に力を入れています。



携帯トイレ普及啓発活動 (H29~)



戸隠デザインのオリジナル携帯トイレ

近自然工法による登山道整備講習会





近自然工法は、気候や地形、水の流れ等周辺にあるものを 登山道の整備に活かし、歩きやすさだけでなく周辺環境の 保全や復元も目指す手法です。

平成29(2017)年から近自然工法による登山道整備講習会を開き、取り組んでいます。



携帯トイレ自動販売機設置 (H29・戸隠地域)



携帯トイレ販売店における啓発用ポップの掲示

登山道の保全整備・維持管理

登山道に関する学術論文発表会を実施したほか、 登山道の保全整備・維持管理レベル等について、頚 城山系の関係者が集まり意見交換会を行って登山 道整備の今後について検討を進めています。



学術論文発表会 (H29) [東京農工大学土屋研究室]

登山道の保全整備・ 維持管理レベル等の 意見交換会(R2~)

たほか、 火打山の登山道に

火打山の登山道に設置 されたビーコンを利用し て、火打山の自然情報を 得られるアプリです。

火打やまナビの運用

火打山への理解や親しみを深め、適切な利用と 安全を促進することを目 的に作成し、運用してい ます。



http://chubu.env.go.jp/shinetsu/pre_2018/post_53.html

- * Android スマートフォンをご利用の方(対応機種:Android4.3 以降) → Play ストアより「火打やまナビ」と検索してインストール
- * iPhone または ipad をご利用の方(対応機種:iOS9.0 以降) → App Store より「火打やまナビ」と検索してインストール

QR ⊃−

● 多様なエコツアー の推進 妙高戸隠連山国立公園は、日本一の遊学舎(まなびや)を目標に、来訪する皆さんが楽しめる様々なツアーやコースを揃えています。糸魚川ジオパーク等周辺の様々な魅力ある資源と連携しながら、モデルツアーの検討やエコツアー実施マニュアルの作成、国立公園を楽しむ新たなコースの作成等を進めています。

エコツアーの開発

地域の自然を楽しめるエコツアーを開発するため、意見交換会やモデル ツアーを実施しました。また、エコツアー実践マニュアルを作成しました。



糸魚川世界ジオパーク活用や 体制づくりについての 地域住民向けの意見交換会(H30)



糸魚川世界ジオパークを対象とした モデルツアー「つくって楽しい 食べて美味しいジオツアー」の実施(R1)



エコツアー実践マニュアルの作成 及び連絡協議会 HP への掲載 (R1)

日本の国立公園で実施される様々なエコツアーを紹介する「日本の国立公園コンテンツ集2021-2022」に合わせて18件のエコツアーと、1件のモデルコースを掲載しました。また、季節毎に国立公園内で実施されるイベントやツアーについて一体的な情報発信を行いました。



環境省「日本の国立公園コンテンツ集 2021-2022」への掲載

▼ 本 子 開 注 (1) 国立公園 2018年まのイヤント マアー 開 1

100 100

国立公園を周遊する モデルルートの開発、情報発信

妙高戸隠連山国立公園 冬 (H30) イベント・ツアー情報 (環境省ホームページ)



パンフレット QR コード

*日本の国立公園コンテンツ集

● ガイドの育成

良質なエコツアーを提供するため、 エコツアーが盛んな先進地域の視 察や、モデルツアー開発のための講 習会・研修を実施しています。

先進地域への視察



地域のエコツアー関係者 による「天空の楽園~日本 一の星空ツアー」実施主体 の阿智昼神観光局(長野県 阿智村)視察しました。



(左) スターコンシェルジュによる星空の紹介を体験 (右) 阿智昼神観光局の方による講演会

地域資源を活用した エコツアー開発研修

地域資源を活用したツアー 構築のモデルとして、戸隠中 社竹細工生産組合を中心に協 議会構成員が協力して「戸隠 竹細エイベント」を実施しま した。

さらに、エコツアーの先進 地域である三重県伊勢市の 「海島遊民くらぶ(有限会社オ ズ)」より講師を招き、講演会 及び意見交換会を行うととも に、助言を得ながら「かんじき ツアー」を試験的に実施しま した。



戸隠竹細工を活用したモデルツアー



地域資源を活用したツアー開発勉強会

● 地域版 オフィシャル パートナー

地域の企業や団体と協議会が協 力して下記の活動を進めるため、 「妙高戸隠連山国立公園オフィ シャルパートナーシップ」の仕組 みづくりを進めています。

- 自然環境保全に関係する活動
- 適正な公園利用の推進に 関係する活動
- 国立公園の魅力を発信する活動
- 協議会の取組への協賛 等

情報発信

国立公園の総合的な 情報発信



当国立公園やその 周辺地域の魅力や情 報を発信するため、 山登りマップと総合 ガイドブックを作成 しました。



「妙高戸隠連山国立公園」 山登りマップ

公園内の6つの 登山コースと その魅力を紹介



14個の魅力にそって、 体験できること、楽し めること、学べること を総合的に発信



大自然で楽しみたいこと1



共同イベントによる 情報発信

当国立公園の各エリアの事 業者が、8月の2日間、同時期 に一体となって実施する「妙高 戸隠連山国立公園 森遊び! 2Daysフェア」を実施し、たく さんの方に参加いただきまし た。イベントは平成30~令和 元年(2018~2019)に実施 し、令和2(2020)年は新型コ ロナウィルスの影響のため、 SNSを活用した「国立公園で森 遊び!写真投稿キャンペーン」 を実施しました。



「森遊び!2Daysフェア」として各 エリアで、ガイドウォークや自然観 察会、クラフトづくり、史跡巡りなど のイベントを実施



当国立公園で「森遊び」をして過ごす写真や 思い出の一枚を募集。 1000を超える森遊びの体験の様子が集まり





















webサイト、SNS等 による情報発信

協議会のwebサイトのほか、facebookで日々 の国立公園の様子やイベントなどの情報発信を 進めています。このほか、アクティブレンジャー 日記でも日々の活動の様子をお伝えしています。







地域と連携した情報発信 子どもパークレンジャー

戸隠小学校や戸隠神社と連携し、子ど もたちが地域の魅力を伝えるパンフ レットを作成。作成したパンフレットを 長野駅や戸隠神社を訪れる直接来訪者 に子どもたちが直接手渡ししました。 (H30 ~)





● あまとみトレイル の設置

「あまとみトレイル」とは、妙高戸 隠連山国立公園を中心とした地 域の見どころを歩いて回るロン グトレイルです。環境省をはじ

め、2県6市町村に及ぶ関係自治体、関係機関、民間団体、地域住民の方々と共にルートの検討や地域の方との調整、整備を進めてきました。現在は、長野駅、斑尾山を起終点として、善光寺、戸隠、黒姫、妙高笹ヶ峰、野尻湖などの各所を結ぶ全長86kmのルートが決定しています。今後さらに、妙高笹ヶ峰から小谷村、糸魚川市方面をつなぐルートも検討しています。

令和3(2021)年10月23日、決定したルートが開通しました。

ロングトレイルとは?

森林や原野、里山などにある「歩くための道」を、歩く速さで旅するのがロングトレイルです。全線踏破を目指すもよし、気になる場所にフォーカスするもよし。自分たちの体力やルートの難易度に合わせて自由に組み立てて歩きます。

旅をする中では、自然との出会い、人との ふれあいも魅力です。

「あまとみ」とは









がくし

ようこう

妙高戸隠連田国東 の園や周辺を雨飾、 である雨飾、 である雨が、 での名称から頭と でいるなずっしてい であまとみ」としてい ます。

シンボルマーク



妙高戸隠連山国立公園の特徴である火山、非火山の個性ある山並みがコンパクトにぎゅっと凝縮して存在しているイメージを表しています。ある特定の場所から見た景色などではなく、一目五山(どこからでもたくさんの山々が見られる)というイメージです。

歩く利用部会におけるロングトレイルルートの検討調査 (H28 ~)





方識老に上ろ調査を実施 (H3∩) Ⅱ,―ト検証するための調査を継続由 (H3∩ ~)









ルートの検討

ワークショップで歴史、文化、自然の 資源の魅力を楽しめるルートについて 検討しました。

候補の道は実際に踏査して安全に歩くことができるか確認し、ルートの検討 を重ねています。







令和3年、あまとみ トレイル一部開通

令和3(2021)年10月23日、決定したルートの一部が開通しました。開通を記念して、記念式典と記念ツアーを実施しました。

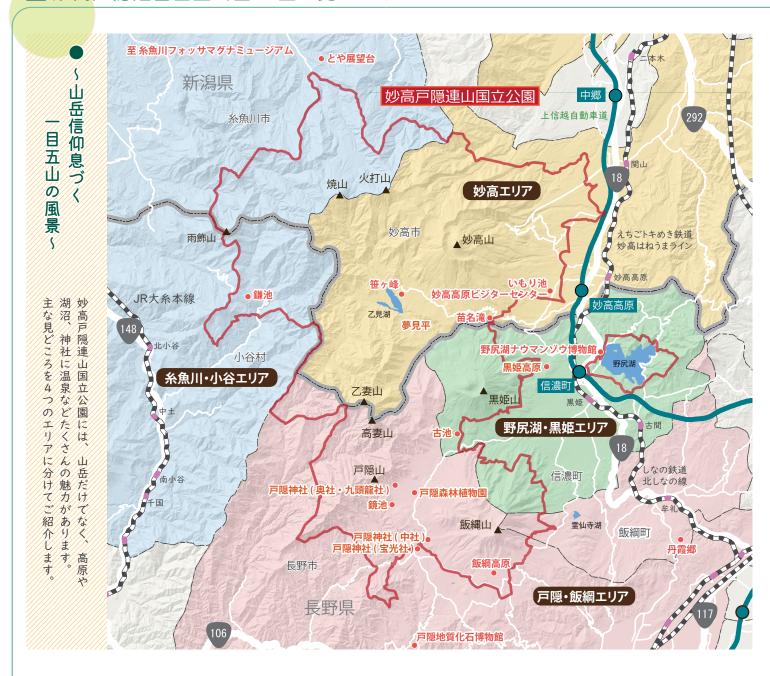






あまとみトレイルのルート(一部開通区間)





糸魚川・小谷エリア (新潟県糸魚川市、長野県小谷村)

「秘湯とジオパーク」

雨飾山と焼山の麓の高原地帯には、山奥に 佇む秘湯や静寂の鎌池、"一目五山"が美しい とや展望台などがあります。糸魚川世界ジオ パークでは、大地の営みを実感できます。











妙高エリア (新潟県妙高市)

「色々遊べる温泉郷」





妙高山の麓の高原地帯には、「逆さ妙高」が美しいいもり池、 散策路が豊富な笹ヶ峰高原、日本の滝百選の苗名滝、妙高高原 温泉郷、スキー場など見どころ 満載です。







野尻湖・黒姫エリア (長野県信濃町)

「ナウマンゾウ発掘の湖と 高原の花々」



野尻湖は約7万年の歴史を持つ湖です。ウォーターアクティビティが盛んで、ナウマンゾウが発掘された地として有名です。黒姫高原にはヨーロッパを思わせる風景があり、季節の花々が咲き誇ります。







戸隠・飯綱エリア (長野県長野市、飯綱町)

「山岳信仰と湿原の花々」

戸隠山や飯縄山の麓の高原地帯には、山岳信仰を伝える戸隠神社、戸隠山を水面に移す鏡池、"一目五山"が美しい丹霞郷などがあります。湿原も豊富で、春の水芭蕉などの花々は見事です。









戸隠神社







■ 本冊子に関するお問い合わせ先

環境省 信越自然環境事務所

[住所] 長野県長野市旭町 1108 長野第一合同庁舎3階

[電話] 026-231-6570

ホームページ ホームページ

facebook

発行元:妙高戸隠連山国立公園連絡協議会

作 成:環境省 信越自然環境事務所 編集協力:株式会社 地域環境計画

令和4(2022)年2月発行

妙高戸隠連山国立公園協議会ホームページの維持管理変更について

現在、ホームページ作成受注者の株式会社ファインピクサーに維持管理業務を発注しているが、経費が多くかかっているため、他業者への変更を検討する。

(年間)

-	現在	R4 年度~
請負会社	ファインピクサー	ConoHa(別紙 1) (WING パック、ベーシック)
サーバー	48,000 円	10,560 円
SSL 証明書	28,000 円	無料※1
ドメイン更新	8,000 円	3,058 円※2
その他	_	150 円※3
合計	84,000 円	13,768 円

- ※1 レンタルサーバーのオプションに含まれる。有料版(26,400円/年~)も有り
- ※2 現在ファインピクサー経由 muumuu にて管理されているドメイン (myokotogakushi.jp) を ConoHa に管理を移す移管料金が必要となり、次年度からはドメイン使用の更新料が必要となる (更新月は1月末)
- ※3 支払手数料。支払い方法は、クレジットカード払いか ConoHa チャージになり、 銀行決済又はコンビニ支払だと手数料がかかる。

	お支払い方法	手数料	入金確認の目安	お支払い形式
クレジットカード払い VISA		無料	入金確認不要	毎月月末締め、 翌月月初に請求
	クレジットカード決済	無料	即時	
	Amazon Pay	無料	即時	チャージ分をご利用前に 入金するプリペイド形式
ConoHa	銀行決済(ペイジー)	振込手数料お客様負担 (150円/件)		
チャージ	コンピニエンスストア払い	お支払い手数料お客様負担 (150円/件)	ご入金後から 数時間~1営業日	
	PayPal	無料		
	Alipay	無料		
	ConoHaカード	無料	事前購入のため 入金確認不要	事前に販売店からご購入 ご購入はこちら



Webサーバー

\$ ConoHa WINGのスペック・料金

ConoHa WINGは初期費用無料・最低利用期間なし、利用料金はサーバー費用のみでご利用いただけます。 料金タイプは、最小限のコストで気軽に始められる通常料金と、3ヶ月以上の長期利用でおトクなレンタルサーバーと独自ドメインがセットになった「WINGパック」をご用意しております。

	プラン		ベーシック	スタンダード	プレミアム	リザーブド1GB	リザーブド2GB	リザーブド4GB
	初期費用		無料	無料	無料	無料	無料	無料
	最低利用期	間	無し*1	無し*1	無し*1	無し*1	無し* ¹	無し**1
stral		3ヶ月	1,210円	2,530円	5,060円	1,540円	3,190円	6,380円
料	WINGパック※2	6ヶ月	1,100円	2,365円	4,730円	1,430円	3,025円	6,050円
金	(1ヶ月あたりの料金を表示)	12ヶ月	990円	2,145円	4,290円	1,320円	2,805円	5,610円
_	(1)7307290741122371)	24ヶ月	935円	2,035円	4,070円	1,265円	2,695円	5,390円
		36ヶ月	880円	1,925円	3,850円	1,210円	2,585円	5,170円
	通常料金	1ヶ月	1,320円	2,640円	5,280円	1,650円	3,300円	6,600円
	週市科並	1時間	2.2円	4.4円	8.8円	2.8円	5.5円	11.0円

	※2 WINGパックは長期利用割引プランのため、ご契約期間中の途中解約を承る事はできません。また、WINGパックはご契約期間分の料金を一括前払いでお支払いいただきます。月単位での分割払いには対応しておりませんのであらかじめご了承ください。						
	ディスク容量(SSD)	300GB	400GB	500GB	300GB	400GB	500GB
	転送量目安	27TB / 月	36TB / 月	45TB / 月	27TB / 月	36TB / 月	45TB / 月
	リソース保証		なし			あり	
ス	メモリ	-	-	-	1GB	2GB	4GB
ペッ	vCPU	-	-	-	2コア	3コア	4コア
Ź	RAID構成			RAI	D10		
	00			01			

CloudLinux Apache + nginx

WCD7 /	Apache + rigina	
データベース	MySQL	
無料独自SSL	無料SSL証明書「Let's Encrypt」を全プランでご利用いただけます。	
ドメイン(無制限)	初期ドメインを1個標準提供。長期利用割引ブラン「WINGパック」をご契約の場合、独自ドメインを1つ永久無料で利用できます。	
データベース(無制限)	MySQLを採用、1個あたり4.5GBでご利用いただけます。また、管理ツールのphpMyAdminも利用可能です。	
プラン変更	どのプランからでも、すべてのプランへ変更可能です。**3	
リソースグラフ	利用中のサーバー使用状況をグラフで表示します。	
サーバーマイグレーション	サーバー収容環境の混雑時に、収容率の低いサーバーにデータの移行を行うことができます。	
自動バックアップ	Webサイト、メール、データベースのデータを1日1回バックアップし、過去14日分を復旧用データとして利用できます。	
SSH	UNIXコマンドを用いてサーバーを達隔操作できます。SCPも利用可能です。	
ジョブスケジューラー(Cron)	日時を指定して定期的に任意のコマンド(プログラム)を実行できます。	
自動プランアップ	CPU・メモリ・ディスク使用率がお客様にて事前に設定したしきい値を超えた場合に、自動でプランアップできます。	
モバイル連携	ConoHa公式スマホアプリConoHa Mobileと連携し、ConoHaチャージの残高管理やアクセス状況の確認ができます。	
アプリケーションインストール	WordPressやEC-CUBEといった便利なアプリケーションプログラムを、手間なく簡単にインストールできます。	
Webフォント	手軽にWebサイトの文字を美しくできるモリサワWebフォントを無料で利用できます。	
動作確認URL	ドメインのネームサーバーを変更する前に、ConoHa WINGに設置したホームページの表示内容を確認できます。	
エラーページ	自分でカスタマイズしたエラーページを表示できます。	
ads.txt設定	不正な広告販売を防止するads.txtをコントロールパネルから簡単に設定できます。	
FTPアカウント(無制限)	ファイルのアップロードなどを行うために必要な、FTPアカウントを作成できます。	
ファイルマネージャー	ブラウザからサーバー上のファイルの操作ができます。	
LiteSpeed LSAPI	従来のFastCGIより20%も高速なLiteSpeed LSAPIを、PHPアプリケーション実行環境として採用しています。	
PHP7·HTTP/2	PHP7やHTTPS化したWebサイトの表示速度を高速化できるHTTP / 2を利用できます。	
コンテンツキャッシュ・ブラウザキャッシュ	ConoHa WING独自にチューニングした強力なキャッシュ機能で、Webサイトの表示を高速化できます。	
WordPressかんたんセットアップ	WordPressの運用に必要なレンタルサーバー、独自ドメイン、WordPress、テーマ、SSLをまとめて一括で取得・設定できます。	
WordPressかんたん移行	他社サーバーでお使いのWordPressをご自身の手間無くConoHa WINGへ移行できます。	
WordPressテーマ	コントロールパネルから簡単にWordPressテーマをインストール、適用できます。無料テーマの「Cocoon」から有料テーマまで充実のラインナップで提供しています。	
WordPressサイトコピー	ConoHa WINGで公開されているWordPressサイトを別のドメインにワンクリックでコピーできます。	
WordPressプラグイン	WordPressの管理画面上からConoHa WINGサーバーに関する設定が行えるブラグインをインストールできます。	
WAF(Webアプリケーションファイアウォール)	Webアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃からWebサイトを保護するセキュリティ機能です。	
メールアドレス (無制限)	お好きな文字列のメールアドレスを作成できます。	
迷惑メールフィルター	F-Secure社提供のスパムフィルターで自動でスパムメールを判定、排除できます。	
ウイルスチェック	F-Secure社提供のアンチウィルスでメール送受信時にウィルススキャンを行い自動でウィルスを検知、駆除できます。	
Webメール	Webブラウザからメールの閲覧や送受信が可能です。	
メーリングリスト(無制限)	同じ内容のメールをリストに登録した複数のメールアドレスへ一度に送信することができます。	

※3 ディスク容量がオーバーしている場合はブランダウン出来ません。

有 クイック認証SSL 1ドメイン 2,200円 / 月
料 独自SSL 企業認証SSL 1ドメイン 58,080円 / 1年 58,080円 / 1年 2月 1年 2月 1年 2月 1日 1十年 2月 1日
オ EV SSL 1ドメイン 129,800円 / 1年
THE SONIC 1テーマ 6,578円 / 年*4 無料のWordPressテーマに加えて、有料テーマをご用意。長期利用割引プラン
■ WordPressテーマ JIN 1テーマ 14,250円 ³⁴ 「WINGパック」をご利用の場合、通常価格よりもお得な価格でテーマをご利用
SANGO 1テーマ 9,900円**4 いただけます。
WordPress移行代行 1サイト 7,678円~ 他社サーバーでお使いのWordPressをConoHa WINGへ移行する作業を代行し

%4~WordPressテーマの料金は、WINGパックご利用時の価格になります。

※ 掲載価格はすべて税込み表示です。

受信したメールに対し定型文を自動で返信することができます。

妙高戸隠連山国立公園 ビジョン

基本理念: 温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれ、大事にされてきた自然と文化があります。 これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかける「温故知新」の精神により、より良い国立公園と して後世につないでいきます。

また、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、新たな国立公園となった今、 地域皆が協力してきめ細かな国立公園づくりを行うことで、そこに暮らす・暮らしていた人々は 「住んでよかった・この地に帰りたい」、訪れる人々は「行ってみたい、行って良かった」と思え るような、日本一愛される国立公園を目指します。

■妙高戸隠連山国立公園の魅力は、「山岳信仰と人々の暮らし息づく、一目五山の風景」です。

当国立公園の魅力は、第一に、里や高原から火山・非火山の個性的な形の山々を一望できることです。まず火山としては、8km ごとのほぼ等間隔にポコポコと並ぶ飯縄山・黒姫山・妙高山、噴煙をあげる焼山があります。そして非火山としては、ギザギザとして急峻な戸隠連峰やなだらかな形の火打山、双耳峰の雨飾山などがあります。このように、個性的な形であるため山の名称を認識しやすい山が、コンパクトな国立公園の中にギュッと凝縮して存在しているため、五つもの山を一目で認識することができる「一目五山」の風景が公園内の至る所にあり、少し移動するだけで趣の異なる山容を楽しむことができます。また、多くの高原や、湖・池・湿原なども公園内に存在しており、里では農の営みも盛んです。そのため、「一目五山」の山並みと、森や水辺、日本らしい田園風景がセットになった風景を公園内の里や高原の至るところで目にすることができ、妙高戸隠連山国立公園らしい風景となっています。さらに、当地域は極めてはっきりとした四季を有していることから、これらの風景を、春夏秋冬それぞれの鮮やかな色で楽しむことができます。

第二に、当国立公園内の個性的な山容を持つ山々の多くが、山岳信仰の対象や地域の象徴として、地域の人々に大切にされてきたことです。ここから生じる歴史的な町並みや神社仏閣、祭りや生活習慣は、現在まで受け継がれています。また、冬の豪雪など美しくも厳しい自然と向き合ってきた当地では、工夫を凝らした暮らしぶりや、竹細工など自然資源を活用した伝統工芸の発展等、「自然と共存する知恵を持った文化」が今も息づいています。しかも、コンパクトな国立公園であるにも関わらず、こういった文化や方言なども地域によって少しずつ異なっており、文化もギュッと詰まっていると言えます。そして、厳しい自然と向き合い続けてきた当地に暮らす人々は、温かな人情を持ち合わせています。このように、大地の営みとそれに寄り添う人々の暮らし・信仰が紡ぐ風景も、本国立公園の大きな魅力です。

その他、多種多様な動植物の生息地となっていることも魅力の1つです。例えば、当地域の大部分が「重要野鳥生息地」に選定されており、野鳥の宝庫となっています。特に、火打山周辺に生息するライチョウは国内北限の個体群(頸城山系個体群)であり、極めて重要です。また、高山のお花畑、山地帯のブナの原生林、山麓の湿原や雑木林など、多様な植生が存在しています。そして、トガクシソウ(トガクシショウマ)やミョウコウトリカブトのように当地域の名前がついている植物もあり、地域の自然資源の象徴となっています。

さらに、フォッサマグナ帯に位置し世界ジオパークに認定されている「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク」を含むことや、約7万年の歴史を持ちナウマンゾウ発掘で有名な野尻湖があることなど、大地の歴史ロマンや勢いを体全体で感じるといった、地形地質的な魅力もあります。

■妙高戸隠連山国立公園の役割は、「色鮮やかな自然があり続けることと、

日本一の"自然×文化"の遊学舎であること」です。

国立公園は、日本の優れた自然の証、そして地域の自然の象徴的な存在です。地域の、そして 日本の宝である自然を保全することにより、後世にわたって豊かな自然と四季折々の色鮮やかな 風景があり続ける場であることが、当国立公園の存在する大切な役割の1つです。

もう1つの役割は、その豊かな自然が節度を持って利用され、人々に様々な体験を与えられる場であり続けることです。妙高戸隠連山国立公園には、多様な資源とはっきりとした四季があるため、「海以外の遊びや学びを、四季折々にできる」ことが特徴です。例えば、初級者から上級者まで満足できる登山、気軽な自然散策、スキーをはじめとした雪遊び、野尻湖のカヌーをはじめとするウォータースポーツ、釣り、サイクリングや高地トレーニングなど、自然を利用した各種アクティビティを楽しむことができます。これらを体験できる場所は公園内各所に点在しており、当国立公園全体が、いわば「自然遊びのテーマパーク」となっています。また、動植物の自然観察、化石発掘体験、地形地質の学習や山岳信仰に関する体験等、知的好奇心を満たす様々な学びもでき、当国立公園は「自然と文化の博物館」とも言えます。当国立公園ではこのような遊びと学びの体験を併せ、「"自然×文化"の遊学舎」と呼ぶこととし、日本で一番、「自然と文化」の「遊びと学び」が充実した国立公園となることを目指します。

また、「癒しの場」となることも、当国立公園の大切な役割の1つです。小谷温泉や妙高高原温泉郷など歴史ある温泉が豊富であることをはじめとして、森林セラピー、地域色豊かな郷土食や温かい心を持つ人々とのふれあい、日本の原風景を思わせる心落ち着く風景などから、当国立公園は人々の心を癒す場であります。

そして、妙高戸隠連山国立公園はコンパクトな国立公園であるため、これらを体験できる場所もギュっと凝縮していて、短期間に複数の体験をすることができます。また、北陸新幹線や高速道路から近い地域も多く観光客のアクセスが良いとともに、近隣市街地から近いことで地域住民も気軽に足を運ぶことができる、地域に根ざした国立公園でもあります。

■<u>妙高戸隠連山国立公園の保全・利用の目標は、「先人が築き守ってきた自然と文化を、</u> 私たちが自信をもって子供たちに引き継ぐこと」です。

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれてきた自然と文化があります。守るべき風景や動植物、文化等が何であるのかを再認識した上で、保全します。また、守られた資源を節度を持って利用し、多くの人が自然を楽しむ場にするとともに、自然を大切にする意識を醸成する場とします。なお、単純に多くの利用者があれば良いということではなく、自然の状況や地域に応じて適正な利用者数があることを大切にします。自然や文化が守られ、その自然や文化を求めて多くの人が訪れる国立公園となることで、そこに暮らす・暮らしていた人々は「住んでよかった・この地に帰りたい」、訪れる人々は「行ってみたい、行って良かった」と思えるような国立公園となり、国立公園が地域の糧となります。

これらを実践するのは、今、ここにいる私たちです。私たちが豊かな自然を守り活かし、自信をもって子供たちに引き継いでいきます。

妙高戸隠連山国立公園管理運営方針

妙高戸隠連山国立公園の共通の目標であるビジョンを実現するためには、取り組むべき施策の方向性を地域皆で共有し、同じ方向を向いて取組を進めていくことが大切です。そこで、取り組むべき施策の方向性として①~⑨を定め、関係者皆で適切な役割分担のもと取り組みます。

注)「(取組の具体例)」は、具体的なイメージをつかむために、行政関係者や地域住民から出された意見を例として記載したものです。

① 北限のライチョウをはじめ、豊かな生物多様性保全の取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、多様な地形地質が存在することや豪雪地帯であること等から、北限のライチョウをはじめとして動植物相がとても豊かな地域です。この豊かな生物多様性が当国立公園内にあり続けることが、当国立公園の役割の1つです。

豊かな生物多様性を保全するためには、例えば、調査研究の推進、希少種の保全、外来種対策、人 為によって維持される自然の保全再生、野生鳥獣対策などの取組が必要です。

(取組の具体例)国立公園の植物相の把握、ライチョウ保護増殖事業の推進、高山植物の盗掘防止対策の実施、火打山 におけるオオバコの対策、樹木の侵入が見られる湿地の保全 等

② 妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観保全の取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、火山・非火山の個性的な山容をもつ山岳が密集し、点在する高原や湖沼と相まって美しい自然景観となっているとともに、伝統的な街並みや農の風景など人が紡ぐ美しい風景があります。また、豊かな自然が生み出すきれいな水や空気、静穏な環境もあります。この妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観があり続けることが、当国立公園の役割の1つです。

妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観を保全するためには、例えば、街並みや自然景観等良好な景観の形成及び維持管理、展望台や歩道等風致景観を楽しむ良好な場の形成及び維持管理、自然公園法の遵守、水や大気等の環境保全などの取組が必要です。

(取組の具体例) 伝統的な街並みの保全、廃屋の存在等国立公園らしくない街並みの改善、野尻湖の桟橋のあり方の整理、 展望地で眺望を妨げている樹木・柵・看板等への対応、散策路及びその周辺の適切な管理とベンチの設置、野尻湖の水質 や静音の維持等

③ 登山を活性化させる取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、初級者から上級者まで皆が満足できる変化に富んだ魅力的な登山ルートを有しているとともに、コンパクトな国立公園ながらも日本百名山が4座もあることから、登山は当国立公園における主要な利用形態の1つとなっています。このため、多くの利用者に安全快適に登山を楽しんでいただくことが、当国立公園の役割の1つです。

登山を活性化させるためには、例えば、適切な登山道整備の推進及び適切な維持管理、トイレや山小屋等施設に関する課題への対応、登山ガイドの人材確保やスキルアップ、新潟焼山の火山防災対策や防災教育の推進、安全登山を含めた情報発信の活性化などの取組みが必要です。なお、登山道整備や情報発信に際しては、保全と利用のバランスに配慮します。

(取組の具体例)登山道整備に関わる人材や費用の確保、登山道整備方針の整理、携帯トイレの普及、登山口の駐車場不足への対応、自然及び安全に精通するガイドの養成と有資格化、ガイド利用の活性化、火山防災に関する避難訓練の実施、登山マップの作成と効果的な活用 登山届提出の促進、等

④ 自然や文化で遊び・学ぶ体験活動を活性化させる取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、日本有数のスキー場の密集地であるほか、散策やカヌー、サイクリング等、自然を利用した遊びの場となっています。また、動植物の自然観察、化石発掘を含めた地形地質の体験学習、山岳信仰にふれる体験等、多様な体験ができる資源を有しており、自然や文化の学びに適した場でもあります。このため、各種アクティビティやエコツーリズム等体験活動の場となることが、当国立公園の役割の1つです。

自然や文化で遊び・学ぶ体験活動を活性化させるためには、例えば、アクティビティや体験プログラムの充実、ガイドの人材確保やスキルアップ、情報発信の活性化などの取組みが必要です。

(取組の具体例) 多様なメニューの整備、国立公園の魅力をより詳しく学ぶことができるプログラムへの改善、エコツー リズム推進全体構想の認定、博物館の利用促進、妙高戸隠連山学のガイドへの浸透、雪質の良さなど魅力を活かした情報 発信、エコツアーの一元的な情報発信 等

⑤ 癒しの場となるような取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、四季折々の日本らしい心落ち着く風景、火山の恵みを受けた多様な泉質の温泉や湯治場、歴史ある神社、おいしい農産物と郷土食、温かい心を持った地域の人々など、人々に癒しを与える多様な資源を有しています。このため、人々の心身を癒す保健休養の場となることが、当国立公園の役割の1つです。

癒しの場となるには、例えば、温泉や神社等癒される施設の利用の活性化、ヘルスツーリズムの活性化、文化や風土に根ざした食の提供、おもてなしの心の構築などの取組が必要です。

(取組の具体例) 泉質の違いを発信することによる周遊利用の推進、森林セラピーの広域利用の促進、ノルディックウォーキングやウェルネスウォーキングの促進、地産地消の推進、郷土料理教室の開催、地域皆でおもてなしをする心の構築 等

⑥ 「世界に誇れる観光地」となるよう、観光地としての資質を高める取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、豊かな自然と文化を求めて国内外から多くのお客様をお迎えする観光地であるため、利用者にとっての安全性や快適性が十分に確保されている必要があります。そこで、全ての利用者が安全快適に滞在することができ、観光地としての資質の高い、「世界に誇れる観光地」となることを目指します。

「世界に誇れる観光地」となるためには、例えば、観光地として必要な施設や空間の整備、ユニバーサルデザイン化の推進、二次交通の改善、利用状況に関する基礎的データの蓄積などの取組が必要です。

(取組の具体例)サインの統一や設置方針の整理、不足する駐車場や渋滞対策の検討、ゆっくり歩き休める街づくり、外国の方が利用しやすい地域づくり、観光利用に供するバスの運行、登山者数の把握 等

⑦ 地域ぐるみで積極的に情報発信し、「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やす取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園が好きで、一度だけでなく何度でも訪れて下さるリピーターを増やすことが望まれます。そこで、「国立公園のブランド」と「地域としてのまとまり」を活かして地域ぐるみで積極的に国内外に情報発信することにより、「行ってみたい・もう一度行きたい」と思う「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やすことを目指します。

「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やすためには、例えば、当国立公園の魅力の発掘と活用、効果的な手法を用いた情報発信、魅力的なイベントの開催などの取組が必要です。

「(取組の具体例) 各自治体における「国立公園○○」の活用の推進、公園利用者に対するアンケートによるニーズ把握、 問遊観光を促すことに留意した情報発信 (ガイドブックやHPの製作)、登山であればアウトドアショップ等対象を絞った 効果的な発信手法の確立、SNSを利用した情報発信、登山イベントの実施 等

⑧ 「故郷、妙高戸隠連山国立公園」となるような取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園が地域住民(周辺住民含む)の心の誇りや暮らしの糧になることで、「住み続けたい・この故郷に帰ってきたい・新たな故郷として住んでみたい」と思う地域になることが望まれます。そこで、多くの地域住民が「故郷、妙高戸隠連山国立公園」と思うようになることを目指します。

「故郷、妙高戸隠連山国立公園」と思う人を増やすためには、例えば、地域住民が妙高戸隠連山 国立公園を学ぶ機会の充実、自然環境の保全管理への参加促進、地域資源に関連した生業の維持や 雇用の確保などの取組が必要です。

(取組の具体例) 妙高戸隠連山国立公園を総合的に学ぶ「妙高戸隠連山学」の創設、地域住民に対する環境学習の推進、 外来種駆除等へ参加しやすい体制づくり、ガイド利用の活性化、宿泊施設の通年利用の活性化 等

⑨ 協働による取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は2県6市町村にまたがり、その保全と利用の取組には行政・民間業者・住民・学識経験者等様々な主体が関わっています。そのため、各主体の活動や考えを知り、また意見を言い易い場があることや、課題に対する迅速な対応ができる場があることが必要であり、そのため「協働」による管理運営体制を目指します。

協働の取組を進めるためには、例えば、協議会の定期的な開催による意見の交換、官民共同事業の実施、ビジョン等の共有などの取組が必要です。

(取組の具体例) 定期的な協議会の開催による情報共有や意見交換、地域の方から意見を聞く場の定期的な開催、官民一体となった事業の実施、ボランティアが活躍できる体制づくり、法令の解説 等

行動計画

参考資料3-3

ビジョン及び管理運営方針を実現するため、5年程度以内に実施する事項を行動計画とする。協議会の行動計画は、現在当公園が抱えている課題や各構成員からの意見等を踏まえ9項目を「重点事項」として抽出し、当面の主な目標や10年後に目指す状態、取組のすすめ方の概要等を示す。なお、当計画は、進捗状況や各構成員の取組状況、予算状況等に応じて適宜見直すこととする。

	重点事項	現状の主な課題	短中期の主な目標 (達成年度の目安)	10年後に目指す状態	取組のすす め方	管理運営方 針との対応
生物多	8様性の保全					
(1)	生物多様性の保全	・地域一体となった生物多様性保 全活動の不足・科学的知見の蓄積や共有不足	当公園の生物多様性地域戦略の 策定(案) (5年後程度)	市民・研究者・行政が一体となって保全活動を実施し、生物多様性がエコツーリズムに活用されている状態	①のとおり	1, 2, 4, 7, 8, 9
良好な	₹景観形成					
(2)	良好な景観形成	・問題意識と価値付けの不足 ・公園計画や管理計画が景観保全 に貢献不足	特に設けない	当公園らしい景観が保全活用され、景観でメシが食えている状態	②のとおり	2, 4, 5, 6, 7, 8
歩く和	川用の活性化					
(3)	ロングトレイルの設置	・長距離自然歩道を含め、歩く利 用の不足 ・協働体制の末構築	ロングトレイルの開通 (3年後程度)	ロングトレイルを多くの利用者が 利用し地域活性と郷土愛の醸成に 貢献している状態	③のとおり	2 、 3 、 4 、 5 、 6 、 7 、 8 、 9
(4)	サインの統一	・デザインや表記の不統一 ・設置箇所の過不足	サインの統一基準の策定 (1年後程度)	分かりやすく当国立公園らしいデザインのサインが、適所に設置されている状態	④のとおり	3, 4, 6 , 9
(5)	登山の活性化	・管理不足及び整備水準に悩む登 山道の存在 ・登山による地域活性化の不足	登山道管理指針の策定 (5年後程度)	国内外の登山者が安全に登山をす ることができ、地域活性化に貢献 する状態	⑤のとおり	3 , 4, 7, 8, 9
エコツ	ノアーの活性化					
(6)	多様なエコツアープログラ ム作り	・各ツアープログラムやガイドの、地域間の連携不足、質のばら	多様なエコツアープログラムと質の高いガイドー体となったツ	多様で質の高いエコツアープログラムが、複業を含む多くの質の高いガイドによって実施され、公園	⑥ のとおり	1, 2, 3, 4 ,
(7)	質の高いガイドの体制作り	つきや量の不足 ・広報の限界	アーの一元的発信 (5年後程度)	全体の着地型旅行商品として販売 されている状態		5, 6, 7, 8, 9
情報系	を信の強化					
(8)	情報発信の強化	当公園の名前や魅力が、1つの 観光圏として発信されていない	・オフィシャルパートナー制度 を活用した集中PR (2年後(平成30年度)) ・指定5周年記念イベント (3年後(平成31年度))	1つの観光圏として、エコツアーを中心とした長期滞在や周遊利用がなされている状態	⑦のとおり	1, 2, 3, 4, 5, 7 , 8, 9
	\downarrow	+ α の必要な取組				
(9)	エコツーリズム推進全 体構想の認定地域へ	_	エコツーリズム推進全体構想の申 請 (5年後程度)	当国立公園が、「日本一の遊学 舎」となっている状態	上記取組を すすめつつ 検討	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会規約

(名称)

第1条 本会は、妙高戸隠連山国立公園連絡協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、妙高戸隠連山国立公園の関係者が協働型の管理運営を実施することにより、当国立公園(関係が密接な周辺部含む。以下同じ)の保全及び利用を促進することを目的とする。

(事業)

- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (1) 自然環境の保護と利用に関する情報の共有化
 - (2) ビジョン、管理運営方針及び行動計画に関する事項
 - (3) 広域的に取組むべき課題の検討及び解決
 - (4) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

(構成)

第4条 本会の会員は、別表に掲げる関係行政機関、関係団体及び有識者により構成する。

(役員)

- 第5条 本会に次の役員を置く。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 監事 2名

(役員の選任及び任期)

- 第6条 役員は、総会において会員の中から選出する。
 - 2 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 3 会長は、環境省信越自然環境事務所及び関係市町村の長から互選とする。
 - 4. 副会長及び監事は、会長の指名により選出する。

(役員の職務)

- 第7条 会長は、協議会の会務を統括する。
 - 2 副会長は、会長の職務を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
 - 3 監事は、協議会の会計を監査する。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会及び幹事会とする。

(総会)

- 第9条 総会は会長が招集し、会長が議長となる。
 - 2 総会は、会長、副会長、監事及びその他の会員並びに会長が必要と認める者をもって構成する。
 - 3 総会は、原則年1回開催するものとするが、必要に応じ臨時総会を開催できる。
 - 4 総会は、会員の2分の1以上の出席により成立するものとする。
 - 5 総会は、予算、決算及び事業計画並びにその他必要な事項を協議又は承認する。
 - 6 総会の承認事項は、会員の協議を経た上で、議長の決するところによる。

(幹事会)

- 第10条 幹事会は、必要に応じ事務局が招集する。
 - 2 幹事会は、本会を構成する行政機関の幹事及び事務局が必要と認める者をもって構成する。
 - 3 幹事会は、協議会の運営等に関する具体的な協議等を行う。
 - 4. 幹事会は、予算、決算及び事業計画以外で会長が認めた事項について、承認することができる。

(部会の設置)

- 第11条 事業を効果的、効率的に実施するため、必要に応じて個別課題等に対応する部会を設置することができる。
 - 2 部会の設置、構成等必要な事項は、会長が定める。

(会長の専決処分)

- 第12条 会長は、総会及び幹事会(以下「総会等」という。)を招集する時間がないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について、これを専決処分することができる。
 - 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等に報告し、その承認を得なければならない。

(会計)

- 第13条 本会の経費は、負担金、補助金、その他収入をもって充てる。
 - 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

- 第 14 条 本会の事務を処理するため、環境省信越自然環境事務所(長野県長野市旭町 1108) に事務局を 置く。
 - 2 本会の会計を処理するため、別途経理担当を置く。
 - 3 経理担当の任期は、1年とする。

(その他)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- この規約は、平成28年7月19日から施行する。
- この規約は、令和3年8月5日から施行する。

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 構成員名簿

NO	機関・団体等	総会構成員	幹事会構成員
1		東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸	
2	有識者	文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ	同左
3		富山大学 芸術文化学部 准教授 奥 敬一	
4	エコツーリズム関係者	NPO法人GOZAN自然学校 代表理事 目須田 修	
5	エコノーテハム関係有		
6	小谷温泉旅館組合 代表 山田 誠司		
7	地域派英族所有		┃ - 同左
8	·博物館関係者	糸魚川フォッサマグナミュージアム 館長	HJZL
9		野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長	
10	山岳関係者	元高谷池ヒュッテ管理人 築田 博	
11	山田関係有	戸隠登山ガイド組合 代表 吉本 照久	
12		一般社団法人 糸魚川市観光協会 会長	
13		一般社団法人 妙高ツーリズムマネジメント 会長	
14		一般社団法人 戸隠観光協会 会長	
15	観光協会・DMO	一般社団法人 飯綱高原観光協会 会長	事務局長級
16		一般社団法人 信州しなの町観光協会 代表理事	
17		一般社団法人 飯綱町観光協会 会長	
18		一般社団法人 小谷村観光連盟	
19	糸魚川市長		
20		妙高市長	
21	市町村	長野市長	
22	 	信濃町長	環境等関連課長 及び
23		飯綱町長	観光等関連課長
24	小谷村長		
25	県	新潟県県民生活・環境部長	
26	<i>2</i> 1N	長野県環境部長	
27		上越森林管理署長	
28	林野庁	北信森林管理署長	総括森林整備官
29		中信森林管理署長	
30	各部会長	歩く利用部会長	歩く利用部会長
31	環境省	信越自然環境事務所長	国立公園課課長

令和3年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 第2回総会 議事概要

日時:令和4年2月14日(月)10:30~12:10

場所:オンライン開催

出席者:連絡協議会構成員 26 主体、オブザーバー 0 主体・人、環境省(兼事務局) 8名 ※業務請負者含まず

◆議事進行:妙高戸隠連山国立公園連絡協議会会長(環境省信越自然環境事務所所長) 堀内洋 ※以下、敬称略

1. 議事

(1) 第1号議案 行動計画の見直しについて

- ●説明概要(業務請負者:株式会社地域環境計画 荒尾)※資料1
 - ・令和2年度末で策定から5年が経過したため、今年度、3回の幹事会及びアンケートやヒアリング等で実施した中間評価及び新規取組等のご意見を踏まえて、事務局が行動計画の改訂案を整理した。
 - ・行動計画は、生物多様性の保全からエコツーリズム推進全体構想の認定まである。
 - ・最初の策定から10年後の2026年を目標達成年として、10年後の目指す状態に向かって協働及び各主体の取組によって達成を目指したい。
- ●出席者からの意見・質疑応答 特になし

【承認の有無】

・賛成多数(21主体)により承認。

(2) 第2号議案 ①令和3年度活動報告(案) ②令和3年度歳入歳出決算(案)

- ① 令和3年度活動報告(案)
- ●説明概要(信越自然環境事務所 岡田、折原)※資料2-①
 - ・資料に沿って協議会活動の成果を説明。
- ●説明概要(信濃町 町長 横川)※参考資料1-①
 - ・信濃町内の「あまとみトレイル」のルートについて、当初予定のルートに県有林や私有地があり、開 通が難しくなったため、代替ルートを検討した。代替ルートについて了承いただきたい。
- ●説明概要(業務請負者:株式会社地域環境計画 今野)※参考資料1-②
 - ・協議会5年間の活動の成果を冊子にまとめた。今年度中に製本し、構成員へ配布する予定。

・作成にあたり協力いただいたことに感謝する。

●出席者からの意見・質疑応答

- ・提示された代替ルート(資料中の赤いルート)はすでにある道か。(妙高市 市長 入村)
 - →当初は地図中の青いルートを設定した。青いルートはすでにある道。しかし地権者の了承や県有 林内を通るため施業期間中通行ができないことがあるなどの理由から赤いルートに変更した。 (信越自然環境事務所 岸)
 - →地図でしか把握できていないが、代替ルートは行ってみたいと思わせる道なのか。高速道路に沿っている箇所もある。(妙高市 市長 入村)
 - →高速道路沿いではあるが、信越本線の電車をみることができたり、景色の良いところもあり見ど ころのあるルートである。(信越自然環境事務所 岸)
 - →稜線からは外れるが、北しなの線が見えるなど、味わい深いルートである。(信濃町産業観光課 長 佐藤)
 - →結果的に「行きたくなる」道であることが大事。よろしくお願いしたい。(妙高市 市長 入村)

② 令和3年度歳入歳出決算(案)

- ●説明概要(信越自然環境事務所 山岸、監事:野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長 近藤)※資料2-②、③
 - ・資料に沿って決算額を説明。
 - ・監査の結果、適正であることを説明。

【令和3年度活動報告(案)・歳入歳出決算(案) 承認の有無】

・賛成多数(24主体)により承認。

(3) 第3号議案 役員選出

- ●説明概要(信越自然環境事務所 山岸)※資料3
 - ・規約第6条3項に基づき、会長は互選となっているが、令和3年度からの継続とし、信越自然環境事務所長。
 - ・規約第6条4項に基づき、副会長は会長指名の選出となっているため、令和3年度からの継続とし、 長野市長、妙高市長。
 - ・規約第6条4項に基づき、監事について、会長指名の選出及び持ち回りのため、元高谷池ヒュッテ管理人 築田氏、小谷村観光連盟とする。
 - ・規約14条1項に基づき、事務局は継続(信越自然環境事務所)とする。
 - ・規約14条2項に基づき、市町村の持ち回りにより、会計担当は飯綱町とする。

【承認の有無】

・賛成多数(24主体)により承認。

(4) 第4号議案 ①令和4年度活動計画(案) ②令和4年度歳入歳出予算(案)

① 令和 4 年度活動報告(案)

- ●説明概要(信越自然環境事務所 岡田)※資料4-①
 - ・資料に沿って令和4年度の協議会活動の計画を説明。

② 令和 4 年度歳入歳出決算

- ●説明概要(信越自然環境事務所 山岸)※資料4-②、参考資料2
 - ・資料に沿って令和4年度歳入歳出予算(案)を説明
 - ・ホームページサーバー利用料の補足として、サーバー変更について説明

●出席者からの意見・質疑応答

- ・事業計画が多岐にわたるが、予算の使途のほとんどがロングトレイル保守経費となっている。活動計画案の中にはエコツアーの活性化、情報発信の強化など、当市で行っているユネスコのジオパークと親和性が高い項目もある。さまざまなプロジェクトとの連携を進めながら、新型コロナウィルスの収束後のインバウンド需要が回復することも見越して幅広い情報発信もできたらよい。(糸魚川市産業部商工観光課大嶋)
 - →事業費の予算の多くをロングトレイル保守経費としているが、必要に応じて振替えていきたい。 (信越自然環境事務所 山岸)
- ・国立公園のビジョンの温故知新、日本一愛される公園を念頭に「あまとみトレイル」の活動をしていく、そのための必須事項として「あまとみトレイル」の憲章確定、管理運営体制確立を経て再開通したい。取組に尊厳を持って向き合うには自分でできることは自分でやる覚悟が必要。現在、憲章の骨子案を詰めているところであるので、積極的にご意見等をいただきたい。(歩く利用部会 部会長林部)
 - →維持管理体制としての受け皿づくりを進めていただくようお願いしたい。(議事進行:信越自然環境事務所所長 堀内)

【承認の有無】

・賛成多数(23主体)により承認。

2. 報告事項

(1) 新・妙高高原ビジターセンター開設の進捗状況について

- ●説明概要(信越自然環境事務所 岸)
 - ・新・妙高高原ビジターセンターの一部開館の報告及び今後のスケジュールについて説明
 - ・4月1日に全面開館、5月5日に開館記念式典を開催する予定。
- ●出席者からの意見・質疑応答 特になし

(2) 令和 4 年度の部会の実施方法(有識者の参加)について

- ●概要(歩く利用部会 部会長 林部)
 - ・今後、「あまとみトレイル」の憲章や運営計画の検討など、重要な協議事項が控えている。深い見識とわかりやすいご提案をいただいている有識者には、引き続き部会へ出席できるよう事務局にお願いしたい。

●出席者からの意見・質疑応答

・歩く利用部会、情報発信部会の会議中では地元の方とのやりとりより、有識者と事務局とのやりとりが多くなっている現状がある。有識者の参加の形を事務局で検討したい。(信越自然環境事務所 岸)

3. 意見交換

●概要

・妙高市入村市長、信濃町横川町長、飯綱町峯村町長より、引き続き連絡協議会との連携を進めていきたい旨をご発言いただいた。

以上

令和3年度妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 第2回総会 出席者 ※敬称略

NO.	機関・団体等	総会構成員	出欠	備考
1		東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸	欠席	
2	有識者	文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ	出席	
3		富山大学 芸術文化学部 教授 奥 敬一	出席	
4	エコツーリズム 関係者	NPO 法人 GOZAN 自然学校 代表理事 目須田 修	欠席	
5	地域振興関係者	小谷温泉旅館組合 代表 山田 誠司	出席	
6		フォッサマグナミュージアム 館長 竹之内 耕	出席	
7	博物館関係者	野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長 近藤 洋一	出席	
8	1 C BB 10 - W	元高谷池ヒュッテ管理人築田博	欠席	
9	山岳関係者	戸隠登山ガイド組合 代表 吉本 照久	出席	
10		一般社団法人 糸魚川市観光協会長 尾崎 毅	代理出席	事務局長 佐々木繁雄
11		一般社団法人 妙高ツーリズムマネジ メント会長 古川 征夫	代理出席	事務局長 関原一義
12		一般社団法人 戸隠観光協会長 極意 憲雄	出席	
13	観光協会・ DMO	一般社団法人 飯綱高原観光協会長 西澤 一幸	代理出席	専務理事 中島伸也
14		一般社団法人 信州しなの町観光協会 代表理事 有江 重毅	代理出席	事務局長 佐々木政彦
15		一般社団法人 飯綱町観光協会長 山田 保和	代理出席	事務局長 西澤美行
16		一般社団法人 小谷村観光連盟 中村 義明	代理出席	事務局長 堀克彦
17		糸魚川市長 米田 徹	代理出席	産業部商工観光課 課長 大嶋利幸 ※随行 主事 横川雅矢
18		妙高市長 入村 明	出席	
19	市町村	長野市長 荻原 健司	代理出席	商工観光部観光振興課 主事 鈴木智大
20		信濃町長 横川 正知	出席	
21		飯綱町長 峯村 勝盛	出席	
22		小谷村長 中村 義明	代理出席	観光地域振興課 課長 山田久志
23		新潟県県民生活・環境部長	代理出席	環境企画課 課長補佐 星野航
24	県	長野県環境部長	代理出席	自然保護課 企画幹兼自然保護係長 池田敦
25		上越森林管理署長 猪股 英史	出席	
26	林野庁	北信森林管理署長 中嶋 勝浩	出席	
27		中信森林管理署長 石橋 岳志	代理出席	総括森林整備官 砂留直浩
28	歩く利用部会	部会長 林部 直樹	出席	
29	環境省	信越自然環境事務所長 堀内 洋	出席	

■オブザーバー

1	国土交通省	北陸信越運輸局観光部 観光地域振興課長	欠席	
2	ながの観光コンベン ションビューロー	観光部 部長	欠席	

■事務局

1		信越自然環境事務所 国立公園課長 岸 秀蔵	出席
2		信越自然環境事務所 国立公園課 係員 岡田 真次	出席
3		信越自然環境事務所 国立公園課 生物多様性保全企画官 山岸 隆彦	出席
4	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 国立公園利用企画官 折原 直廣	出席
5	垛児日	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官 山本 豊	欠席
6		妙高高原自然保護官事務所 自然保護官補佐 帖地 千尋	欠席
7		戸隠自然保護官事務所 自然保護官 秋本 周	出席
8		戸隠自然保護官事務所 自然保護官補佐 土屋 達郎	出席
9		株式会社地域環境計画 生物多様性推進上席マネージャー 増澤 直	出席
10		株式会社地域環境計画 環境共生推進部リーダー 今野 尚美	出席
11	業務請負者	株式会社地域環境計画 環境共生推進部 荒尾 章子	出席
12		株式会社地域環境計画 環境共生推進部 平 尚恵	出席
13		株式会社地域環境計画 環境共生推進部 佐々木 道子	出席